

設 置 計 画 の 概 要

							事前伺い			
大学の名称		新潟大学			計画の区分		学部の設置			
新 設 学 部 等 の 状 況 (学 年 進 行 終 了 時 に お け る 状 況)										
学部等の名称	学科等の名称	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設年度	異動元	専任教員	
					学位又は称号	学位又は学科の分野			助教以上	うち教授
教育学部	学校教員養成課程	220		880	学士(教育学)	教育学・保育学関係	平成20年度	教育人間科学部学校教育課程	75	36
								教育人間科学部生活環境科学課程	7	4
								採用	1	0
	学習社会ネットワーク課程	45		180	学士(人間科学)	教育学・保育学関係, 社会学・社会福祉学関係		教育人間科学部学習社会ネットワーク課程	5	3
								採用	1	0
	生活科学課程	15		60	学士(生活科学)	教育学・保育学関係, 家政関係		教育人間科学部生活環境科学課程	4	1
						採用	1	0		
	健康スポーツ科学課程	30		120	学士(健康スポーツ科学)	教育学・保育学関係, 体育関係	教育人間科学部健康スポーツ科学課程	8	2	
	芸術環境創造課程	60		240	学士(芸術)	教育学・保育学関係, 美術関係, 音楽関係	教育人間科学部芸術環境創造課程	9	6	
既 設 学 部 等 の 状 況 (現 在 の 状 況)										
学部の名称	学科の名称	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設年度	異動先	専任教員	
					学位又は称号	学位又は学科の分野			助教以上	うち教授
教育人間科学部(廃止)	学校教育課程(廃止)	180		720	学士(教育学)	教育学・保育学関係	平成10年度	教育学部学校教育課程	75	36
								退職	2	2
	学習社会ネットワーク課程(廃止)	70		280	学士(人間科学)	教育学・保育学関係, 社会学・社会福祉学関係		教育学部学習社会ネットワーク課程	5	3
	生活環境科学課程(廃止)	40		160	学士(生活環境科学)	教育学・保育学関係, 理学関係, 家政関係		教育学部学校教育課程	7	4
							教育学部生活科学課程	4	1	
	健康スポーツ科学課程(廃止)	30		120	学士(健康スポーツ科学)	教育学・保育学関係, 体育関係	教育学部健康スポーツ科学課程	8	2	
	芸術環境創造課程(廃止)	60		240	学士(芸術)	教育学・保育学関係, 美術関係, 音楽関係	教育学部芸術環境創造課程	9	6	
【備考欄】										

教 育 課 程 等 の 概 要

(教育学部学校教員養成課程)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
(教養教育に関する授業科目)		別紙1参照													
(専門科目に関する授業科目)															
課程 共通 科目	情報教育論	1・2・3・4	2			○			4	7					集中 集中 集中 集中
	環境教育概論	1・2・3・4	2			○									
	教育実践体験研究Ⅰ	1・2・3・4	2					○	2	1					
	教育実践体験研究Ⅱ	1	2					○	1	1					
	教育実践体験研究Ⅲ	3・4	2					○	2	1					
	教育実践研究Ⅰ	3・4	2					○		1					
	教育実践研究Ⅱ	3・4	2					○		1					
	教育実践研究演習Ⅰ	3・4	2					○		1					
	教育実践研究演習Ⅱ	3・4	2					○		1					
	教育臨床研究演習	3・4	2					○	1						
	学校カウンセリング	2・3・4	2				○		1						
	新聞活用教育(NIE)演習	3・4	2					○	2	1					
小計(12科目)	—	0	24	0		—		7	8	0	0	0			
教職 専門 科目	教職入門	1	2			○			1	3					
	教育本質・目標論	2・3・4	2			○			2	1					
	教育心理学	1	2			○			2	1					
	発達心理学	2	2			○			2	1					
	教育の社会的・制度的・経営的研究	2・3・4	2			○			1	3					
	教育方法・技術A	2・3・4	2			○			2	1					
	道德指導法	2・3・4	2			○			1	1					
	特別活動研究	2・3・4	2			○			2						
	教育課程研究	2・3・4	2			○			2						
	総合演習	2	2					○	13	11					
	教職実践演習	4	2					○	13	11					
小計(11科目)	—	22	0	0		—		18	16	0	0	0			
専修 必修 科目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	3	2			○			2						集中
	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	3	2			○			1		1				
	国語科教育法(初等)	2・3・4	2			○			1	1					
	社会科教育法(初等)	2・3・4	2			○			1		1				
	算数科教育法	3・4	2			○			1	1					
	理科教育法(初等)	2・3・4	2			○			2						
	生活科教育法	2・3・4	2			○			2						
	音楽科教育法(初等)	2・3・4	2			○			1						
	美術科教育法(初等)	2・3・4	2			○			1	1					
	体育科教育法	3・4	2			○			3	2					
	家庭科教育法(初等)	2・3・4	2			○				1					
	初等教育実習Ⅰ	2・3・4	6					○							
	初等教育実習Ⅱ	2・3・4	5					○							
	国語科教育法(中等)Ⅰ	2・3・4	2			○			1						
	国語科教育法(中等)Ⅱ	2・3・4	2			○				1					
	国語科教育法(中等)Ⅲ	3・4	2			○				1					
	国語科教育法(中等)Ⅳ	3・4	2			○			1						
	社会科教育法(中等)Ⅰ	2・3	2			○			1						
	社会科教育法(中等)Ⅱ	2・3	2			○			3	1					
	社会科教育法(中等)Ⅲ	2・3	2			○			1						
	社会科教育法(中等)Ⅳ	3・4	2			○			1						
	数学科教育法Ⅰ	1・2・3・4	2			○				1					
	数学科教育法Ⅱ	2・3・4	2			○			1						
	数学科教育法Ⅲ	3・4	2			○			1						
	数学科教育法Ⅳ	3・4	2			○				1					
	理科教育法(中等)Ⅰ	2・3・4	2			○			2						
	理科教育法(中等)Ⅱ	2・3・4	2			○			2						
	理科教育法(中等)Ⅲ	2・3・4	2			○			1						
	理科教育法(中等)Ⅳ	2・3・4	2			○			6	3					
	音楽科教育法(中等)Ⅰ	2	2			○			1						
	音楽科教育法(中等)Ⅱ	2	2			○				1					
	音楽科教育法(中等)Ⅲ	3・4	2			○			1						
	音楽科教育法(中等)Ⅳ	3・4	2			○				1					
美術科教育法(中等)Ⅰ	2	2			○			1							
美術科教育法(中等)Ⅱ	2	2			○				1						
美術科教育法(中等)Ⅲ	3・4	2			○			1							

(教育学部学校教員養成課程)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教職 専 門 科 目	美術科教育法(中等)Ⅳ	3・4	2			○				1					
	保健体育科教育法Ⅰ	2・3・4	2			○				1					
	保健体育科教育法Ⅱ	3・4	2			○				1					
	保健体育科教育法Ⅲ	3・4	2			○				1					
	保健体育科教育法Ⅳ	4	2			○				1	1				
	技術教育研究Ⅰ	1	2			○				1					
	技術教育研究Ⅱ	1	2			○				1					
	技術教育研究Ⅲ	3	2			○				1					
	技術教育研究Ⅳ	3	2			○				1					
	家庭科教育法(中等)Ⅰ	2	2			○					1				
	家庭科教育法(中等)Ⅱ	2	2			○					1				
	家庭科教育法(中等)Ⅲ	3	2			○					1				
	家庭科教育法(中等)Ⅳ	3	2			○					1				
	英語科教育法Ⅰ	2・3・4	2			○				2					
	英語科教育法Ⅱ	2・3・4	2			○				2					
	英語科教育法Ⅲ	3・4	2			○				2					
	英語科教育法Ⅳ	3・4	2			○				2					
	中等教育実習Ⅰ	2・3・4	4												
	中等教育実習Ⅱ	2・3・4	3												
	中等教育実習Ⅲ	2・3・4	2												
	保育内容の研究(健康)	2・3	2			○					1				
	保育内容の研究(人間関係)	3	2			○									
	保育内容の研究(環境)	3・4	2			○				2	1				
	保育内容の研究(言葉)	2・3	2			○					1				
保育内容の研究(表現Ⅰ)	3・4	2			○					2					
幼稚園教育指導法	2・3	2			○				1						
幼児理解の心理学・教育相談	2・3	2			○									集中、隔年開講	
	小計(63科目)	—	136	0	0	—			25	15	1	0	0		
教科 専 門 科 目	小学校国語(書写を含む)	2・3・4	2			○			1	1					
	小学校社会	2・3・4	2			○			2						
	小学校算数	2・3・4	2			○			1	1					
	小学校理科	2・3・4	2			○			3						
	小学校音楽	2・3・4	2			○				1					
	図画工作	2・3・4	2			○			2	3					
	小学校体育	2・3	2			○			3	4					
	小学校家庭 生活	2・3・4	2			○			2	4					
		小計(9科目)	—	16	2	0	—		15	14	0	0	0		
専 修 専 門 科 目	教育学	2・3・4	2			○			1						
	教育方法学	2・3・4	2			○			1						
	教育哲学	2・3・4	2			○			1						
	教育史	2・3・4	2			○				1					
	教育社会学	2・3・4	2			○			1						
	比較教育学	2・3・4	2			○				1					
	教育行政学	2・3・4	2			○				1				隔年開講	
	教育制度	2・3・4	2			○			1						
	教育学演習A	3・4	2					○	1					隔年開講	
	教育学演習B	3・4	2					○	1					隔年開講	
	教育学演習C	3・4	2					○	1					隔年開講	
	教育学演習D	3・4	2					○	1					隔年開講	
	教育方法学演習A	3・4	2					○	1					隔年開講	
	教育方法学演習B	3・4	2					○	1					隔年開講	
	教育方法学演習C	3・4	2					○	1					隔年開講	
	教育方法学演習D	3・4	2					○	1					隔年開講	
	教育哲学演習A	3・4	2					○	1						
	教育哲学演習B	3・4	2					○	1						
	教育哲学演習C	3・4	2					○	1						
	教育哲学演習D	3・4	2					○	1						
	教育史演習A	3・4	2					○		1					
教育史演習B	3・4	2					○		1						
教育史演習C	3・4	2					○		1				隔年開講		

(教育学部学校教員養成課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専修専門科目	教育史演習D	3・4		2				○								隔年開講
	教育社会学演習A	3・4		2				○								隔年開講
	教育社会学演習B	3・4		2				○								隔年開講
	教育社会学演習C	3・4		2				○								隔年開講
	教育社会学演習D	3・4		2				○								隔年開講
	比較教育学演習A	3・4		2				○		1						隔年開講
	比較教育学演習B	3・4		2				○		1						隔年開講
	比較教育学演習C	3・4		2				○		1						隔年開講
	比較教育学演習D	3・4		2				○		1						隔年開講
	教育行政学演習A	3・4		2				○		1						隔年開講
	教育行政学演習B	3・4		2				○		1						隔年開講
	教育制度演習	3・4		2				○		1						隔年開講
		小計 (35科目)	—	0	70	0			—	5	3	0	0	0		
教育学専修専門科目	教育心理学実験演習I	2	2					○								
	教育心理学実験演習II	2	2					○								
	教育統計学	2	2					○								
	教育心理学総合演習I	3		2				○								
	教育心理学総合演習II	4		2				○								
	教育心理学総合演習III	4		2				○								
	教育心理学A	3・4		2				○								
	教育心理学B	3・4		2				○								
	教育臨床心理学	3・4		2				○			1					
	発達心理学A	3・4		2				○				1				
	発達臨床心理学	3・4		2				○					1			
	教育心理データ解析論	2		2				○								
	教科心理学	3・4		2				○								
	認知心理学	2・3・4		2				○								
	教育評価	2・3・4		2				○								
	小計 (15科目)	—	6	24	0			—	4	1	1	0	0			
障害児教育専修専門科目	発達障害心理学	3・4		2				○								隔年開講
	障害児心理学演習	3・4		2				○								
	障害児病理学演習	3・4		2				○								
	障害児指導学演習II	3・4		2				○								
	障害児指導学演習III	3・4		2				○								
	障害児指導法演習	3・4		2				○								
	視覚障害教育論	2・3・4		2				○								
	聴覚障害教育論	2・3・4		2				○								
	聴覚障害言語指導	2・3・4		2				○								
	障害児教育学演習	3・4		2				○								
	障害児指導学演習I	3・4		2				○								集中
	軽度発達障害心理・教育論	2・3・4		2				○								
	特別支援教育の本質と目標	2・3・4	2					○								
	知的障害心理学	2・3・4	2					○								隔年開講
	障害児精神医学	2・3・4	2					○								隔年開講
	肢体不自由教育総論	2・3・4	2					○								
	病弱児の心理・生理・病理	2・3・4	2					○								
	発達障害指導論	2・3・4	2					○								隔年開講
	肢体不自由指導論	2・3・4	2					○								
	障害児指導学演習IV	3・4		2				○								
	言語障害心理学	3・4		2				○								隔年開講
	障害児教育総論	2・3・4	2					○								
	重複障害の心理・指導論	2・3・4	2					○								
	障害児教育実習	3・4	3					○								
	小計 (24科目)	—	25	24	0			—	1	3	0	0	0			
幼児教育専修専門科目	幼児教育概論	2	2					○								
	幼児心理学概論	2	2					○								
	保育内容の研究 (表現II)	3・4		2				○								
	保育内容の研究演習A	3・4		2				○								
	保育内容の研究演習B	4		2				○								
	保育内容の研究演習C	4		2				○								
	幼児教育演習A	3・4		2				○								
	幼児教育演習B	4		2				○								
	幼児教育演習C	4		2				○								
	幼児心理学演習A	3・4		2				○								
	幼児心理学演習B	4		2				○								
	幼児心理学演習C	4		2				○								
	幼稚園教育実践研究A	3・4		2				○								隔年開講
	幼稚園教育実践研究B	3・4		2				○								隔年開講
	幼稚園教育実践研究C	3・4		2				○								隔年開講
	幼児教育史	2・3・4	2					○								隔年開講
	幼児教育の社会的・制度的・経営的研究	2・3・4	2					○								隔年開講
	幼児発達心理学	2・3・4	2					○								隔年開講
	幼稚園教育課程論	2・3・4	2					○								隔年開講
	小計 (19科目)	—	4	34	0			—	2	2	0	0	0			

(教育学部学校教員養成課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専修専門科目	外国史特講Ⅰ	3・4		2		○			1	1					隔年開講
	外国史特講Ⅱ	3・4		2		○			1	1					隔年開講
	外国史特講Ⅲ	3・4		2		○			1	1					隔年開講
	外国史特講Ⅳ	3・4		2		○			1	1					隔年開講
	外国史演習Ⅰ	3・4		2			○		1	1					隔年開講
	外国史演習Ⅱ	3・4		2			○	○	1	1					隔年開講
	外国史演習Ⅲ	3・4		2			○	○	1	1					隔年開講
	外国史演習Ⅳ	3・4		2			○	○	1	1					隔年開講
	歴史学研究法Ⅰ	2		2			○		1	1					隔年開講
	歴史学研究法Ⅱ	2		2			○		1	1					隔年開講
	地理学特講Ⅰ	2・3・4		2		○									
	地理学特講Ⅱ	2・3・4		2		○									
	地理学特講Ⅲ	2・3・4		2		○									
	地理学特講Ⅳ	2・3・4		2		○			1						
	地理学研究法	2		2			○		1						
	地理学演習Ⅰ	3		2			○		1						
	地理学演習Ⅱ	3		2			○		1						
	地理学演習Ⅲ	4		2			○		1						
	地理学演習Ⅳ	4		2			○		1						
	地理学実習Ⅰ	2・3		2				○	1						
	地理学実習Ⅱ	2・3		2				○	1						
	地理学実習Ⅲ	2・3・4		2				○	1						集中
	地理学実習Ⅳ	2・3・4		2				○	1						集中
	法学特講Ⅰ	2・3・4		2		○				1					隔年開講
	法学特講Ⅱ	2・3・4		2		○				1					隔年開講
	政治学特講Ⅰ	2・3・4		2		○				1					
	政治学特講Ⅱ	2・3・4		2		○				1					
	人文・社会科学研究法Ⅰ	2・3・4		2			○		2	2					
	人文・社会科学研究法Ⅱ	2・3・4		2			○		2	2					
	法学・政治学演習Ⅰ	3・4		2			○			1					
	法学・政治学演習Ⅱ	3・4		2			○			1					
	法学・政治学演習Ⅲ	2・3・4		2			○			1					
	法学・政治学演習Ⅳ	2・3・4		2			○			1					
	経済学特講Ⅰ	3・4		2		○				1					
	経済学特講Ⅱ	3・4		2		○				1					
	社会学特講Ⅰ	3・4		2		○			1						隔年開講
	社会学特講Ⅱ	3・4		2		○			1						隔年開講
	経済学・社会学演習Ⅰ	3・4		2			○			1					
	経済学・社会学演習Ⅱ	3・4		2			○			1					
	経済学・社会学演習Ⅲ	3・4		2			○			1					
	経済学・社会学演習Ⅳ	3・4		2			○			1					
	哲学・倫理学特講Ⅰ	2・3・4		2		○			1						
	哲学・倫理学特講Ⅱ	2・3・4		2		○			1						
	哲学・倫理学演習Ⅰ	3		2			○		1						
	哲学・倫理学演習Ⅱ	3		2			○		1						
	哲学・倫理学演習Ⅲ	4		2			○		1						
哲学・倫理学演習Ⅳ	4		2			○		1							
社会科教材開発実習Ⅰ	2		2				○	2						集中	
社会科教材開発実習Ⅱ	3・4		2				○	2						集中	
人文・社会科学方法論特講	3・4		2		○			1						隔年開講	
人文・社会科学方法論演習Ⅰ	3・4		2			○		1						隔年開講	
人文・社会科学方法論演習Ⅱ	3・4		2			○		1						隔年開講	
社会認識形成史特講	3・4		2		○			1						隔年開講	
社会認識形成史演習Ⅰ	3・4		2			○		1						隔年開講	
社会認識形成史演習Ⅱ	3・4		2			○		1						隔年開講	
社会認識教育方法論演習	3・4		2			○		1						隔年開講	
授業研究法(生活・社会)	3・4		2			○		1						隔年開講	
小計(76科目)	—		8	144	0	—		7	6	0	0	0			
数学教育専修専門科目	代数系の基礎Ⅰ	2・3・4	2			○			1						
	線形代数Ⅰ	2・3・4	2			○				1					
	微積分Ⅰ	2・3・4	2			○			1						
	統計Ⅰ	2・3・4	2			○				1					
	情報数学Ⅰ	2・3・4	2			○					1				
	代数学序説	1・2・3・4		2			○		1						
	代数系の基礎Ⅱ	2・3・4		2			○		1						
	代数学講義Ⅰ	3・4		2			○		1					隔年開講	
	代数学講義Ⅱ	3・4		2			○		1					隔年開講	
	応用代数Ⅰ	3・4		2			○		1					隔年開講	
	応用代数Ⅱ	3・4		2			○		1					隔年開講	
	代数学特講	3・4		2			○		1						
	幾何学序説	1・2・3・4		2			○								
	線形代数Ⅱ	2・3・4		2			○			1					
幾何学講義Ⅰ	3・4		2			○			1				隔年開講		
幾何学講義Ⅱ	3・4		2			○			1				隔年開講		

(教育学部学校教員養成課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専修専門科目	応用幾何学Ⅰ	3・4		2		○				1					隔年開講 隔年開講
	応用幾何学Ⅱ	3・4		2		○				1					
	幾何学特講	2・3・4		2		○				1				隔年開講 隔年開講 隔年開講 隔年開講	
	微分積分学Ⅱ	2・3・4		2		○			1						
	解析学講義Ⅰ	3・4		2		○				1					
	解析学講義Ⅱ	3・4		2		○				1					
	応用解析学Ⅰ	3・4		2		○			1						
	応用解析学Ⅱ	3・4		2		○			1						
	解析学特講	3・4		2		○			1						
	統計学Ⅱ	2・3・4		2		○				1					
	情報数学Ⅱ	2・3・4		2		○			1						
小計 (27科目)	—	10	44	0	—			4	2	0	0	0			
理科教育専修専門科目	基礎物理学実験	2	2					○	1	2				隔年開講 集中, 隔年開講	
	基礎化学実験	2	2					○	1	1					
	基礎生物学実験	2	2					○	2	1					
	地学基礎実習	2	2					○	1	1					
	基礎物理学ⅠA	1	2			○			1						
	基礎物理学ⅠB	2・3・4	2			○			1						
	基礎化学ⅠA	2	2			○				1					
	基礎化学ⅠB	2	2			○			1						
	基礎化学ⅡA	3	2			○									
	基礎化学ⅡB	3	2			○									
	無機化学	3	2			○				1					
	機器分析化学	3	2			○			1						
	基礎生物学A	2	2			○			1						
	基礎生物学B	2	2			○				1					
	基礎生物学C	2	2			○			1						
	生物学特論A	3・4	2			○									
	生物学特論B	3・4	2			○									
	動物学	3・4	2			○				1					
	地域環境生物学	3・4	2			○			1						
	植物学	3・4	2			○			1						
	生活環境生物学実習	1	2					○	1	1					
	地球科学概論	2・3・4	2			○			1						
	生活地圏環境形成論	2・3・4	2			○			1						
	天文学・気象学A	2・3・4	2			○				1					
	天文学・気象学B	2・3・4	2			○				1					
	生活地圏環境セミナーA	3・4	2				○		1	1					
	地殻科学	3・4	2			○				1					
	生活圏地形地質環境論	3	2			○			1						
	自然科学基礎演習Ⅰ	2・3・4	2					○	1						
	自然科学基礎演習Ⅱ	2・3・4	2					○	1						
	情報理科特論	2・3・4	2			○			1						
	情報理科特講	2・3・4	2			○			1						
	物理学実験	3・4	2					○		1					
	物理学セミナー	3	2					○	1	2					
	基礎物理学ⅡA	2・3・4	2			○				1					
	基礎物理学ⅡB	3・4	2			○				1					
	現代物理学ⅠA	3・4	2			○				1					
	現代物理学ⅠB	3・4	2			○				1					
	現代物理学ⅡA	3・4	2			○			1						
	現代物理学ⅡB	3・4	2			○				1					
	現代物理学Ⅲ	3・4	2			○			1						
	有機化学実験	3	2					○							
	物理化学実験	3	2					○	1	1					
	化学演習AⅠ	4	2					○		1					
	化学演習AⅡ	4	2					○		1					
	化学演習BⅠ	4	2					○	1						
	化学演習BⅡ	4	2					○	1						
	生物学演習A	4	2					○	2	1					
	生物学演習B	4	2					○	2	1					
	生物学実験Ⅰ	3	2					○	2	1					
	生物学実験Ⅱ	3	2					○	2	1					
	植物野外実習	3	2					○	1						
	地域環境生物学実習	3	2					○	1						
	昆虫学実習	3	2					○		1					
	地学演習A	4	2					○	1						
	地学演習B	4	2					○		1					
生活地圏環境セミナーB	4	2					○	1							
火山・地球環境セミナー	4	2					○		1						
地殻科学実習	3	2					○	1	1						
地域地質実習	3	2					○	1	1						
小計 (60科目)	—	8	112	0	—			6	5	0	0	0	集中 集中 集中		

(教育学部学校教員養成課程)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専修 専門 科目	音楽表現Ⅰ	1	2					○	1	3					
	音楽表現Ⅱ	2・3・4	2					○		1					
	音楽実践Ⅰ	1・2	2					○	1						
	音楽実践Ⅱ	1・2	2					○		2					
	音楽実践Ⅲ	2・3	1					○							
	音楽実践Ⅳ	2・3	1					○							
	音楽理論	1	2				○		1						
	音楽史	2	2				○		1						
	多文化音楽論Ⅰ	3	2				○								
	合唱	2・3・4	2						1						
	合奏	2・3・4	2							1					
	音楽教育学演習Ⅰ	3		1				○		1					
	音楽教育学演習Ⅱ	3		1				○		1					
	コレギウムⅠ	1・2・3・4	1						○	1					
	コレギウムⅡ	2・3・4	1						○	1					集中
	コレギウムⅢ	2・3・4	1						○	1					集中
	コレギウムⅣ	2・3・4	1						○	1					集中
	コレギウムⅤ	2・3・4	1						○	1					集中
	コレギウムⅥ	1・2・3・4	1						○	1					集中
	コレギウムⅦ	2・3・4	1						○	1					集中
	コレギウムⅧ	2・3・4	1						○	1					集中
	弦楽器メソッドⅠ	2・3	1						○		1				
	弦楽器メソッドⅡ	2・3	1						○		1				
	音楽実践Ⅴ	2・3・4	1						○		1				集中
	音楽実践Ⅵ	2・3・4	1						○		1				集中
	音楽実践Ⅶ	2・3・4	1						○		1				集中
	音楽実践Ⅷ	2・3・4	1						○		1				集中
	声楽アンサンブル	2・3・4	2						○	1					
	伴奏法	3・4	2						○		1				隔年開講
	コンピュータ音楽Ⅰ	2・3・4	2						○	1					
	コンピュータ音楽Ⅱ	2・3・4	2						○	1					
	音楽マネジメントⅠ	2・3・4	2					○		1					
	音楽マネジメントⅡ	2・3・4	2					○		1					
	音楽心理学Ⅰ	2・3・4	2					○			1				隔年開講
	音楽心理学Ⅱ	2・3・4	2					○			1				隔年開講
	西洋音楽史Ⅰ	2・3・4	2					○		1					
	西洋音楽史Ⅱ	2・3・4	2					○		1					
	音楽文化論	2・3・4	2					○		1					
	音楽学Ⅰ	2・3・4	2					○		1					
	音楽学Ⅱ	2・3・4	2					○		1					
	声楽メソッドⅠ	3・4	1						○	1					
	声楽メソッドⅡ	3・4	1						○	1					
	ピアノメソッドⅠ	3・4	1						○		2				
	ピアノメソッドⅡ	3・4	1						○		2				
	ピアノ・アンサンブル	3・4	1						○		1				
	楽曲分析法Ⅰ	2	2						○	1					
	楽曲分析法Ⅱ	2	2						○	1					
	作曲・理論入門Ⅰ	1・2・3・4	2						○	1					
	作曲・理論入門Ⅱ	1・2・3・4	2						○	1					
	音楽環境学演習Ⅰ	3	1						○	1					
	音楽環境学演習Ⅱ	3	1						○	1					
	音楽課題研究	3・4	2						○	4	4				集中
	弦楽アンサンブルⅠ	1・2・3・4	2						○		1				
	弦楽アンサンブルⅡ	1・2・3・4	2						○		1				
	弦楽器実践	1	2						○		1				
小計(55科目)	—	20	65	0	—	—	—	—	4	4	0	0	0		
美術 教育 専修 専門 科目	絵画基礎Ⅰ	1	2					○	1	1					集中
	絵画基礎Ⅱ	1	2					○	1						集中
	彫刻基礎Ⅰ	1	2					○	1						集中
	彫刻基礎Ⅱ	2・3・4	2					○	1						
	工芸基礎	2・3	2					○		1					
	デザイン基礎	2・3	2					○		1					集中
	芸術学	2・3	2					○	2						隔年開講
	日本・東洋美術史	2・3	2				○		1						
	西洋美術史	2・3	2				○		1						
	美術教育原論	3	2				○		1						
	地域芸術研究	3	2					○	1						集中
	絵画制作	2		2				○		1					
	日本画制作	2		2				○		1					
	彫刻制作	2・3・4	2					○		1					
	工芸制作	2・3・4	2					○							集中, 隔年開講
	デザイン制作	3	2					○			1				
	美術教育課題研究Ⅰ	3	2					○	1	1					
	美術教育課題研究Ⅱ	4	2					○	1	1					
	造形芸術学課題研究Ⅰ	3	2					○	1						
	造形芸術学課題研究Ⅱ	3	2					○	1						

(教育学部学校教員養成課程)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
専修専門科目	西洋絵画	2・3・4		2				○							隔年開講		
	日本画	2・3・4		2				○									
	版画実習	2・3・4		2				○									
	空間表現	2・3・4		2			○										
	日本画技法演習	2・3・4		2				○									
	デザイン理論	2・3		2			○										
	彫刻論	2・3・4		2			○										
	芸術学特論	2・3・4		2			○										
	美術史特論	2・3・4		2			○										
	比較芸術学特論	2・3・4		2			○										
	造形教育論	2・3・4		2			○										
	芸術鑑賞演習	2・3・4		2				○									
	木材実習	2・3・4		2					○								
	工芸実習Ⅰ	2・3・4		2					○								
工芸実習Ⅱ	2・3・4		2					○									
工芸実習Ⅲ	2・3・4		2					○									
地域と工芸	2・3・4		2					○									
小計(37科目)		—	22	52	0		—		5	3	0	0	0				
保健体育専門科目	体育原理	2・3・4	2					○							集中		
	体育心理学	2・3・4	2					○									
	体育経営学	2・3・4	2					○									
	運動方法学	2・3・4	2					○									
	生理学・運動生理学	2	2					○									
	衛生学	3	2					○									
	学校保健	2	2					○									
	体操	1・2・3・4	1						○								
	陸上競技	2・3・4	1						○								
	水泳	1・2・3・4	1						○								
	野外活動	2・3・4	1						○								
	サッカー	2・3・4	1						○								
	剣道	2・3・4	1						○								
	体育史	2・3・4		2				○									
	体育社会学	3・4		2				○									
	体育行政学	4		2				○									
	体育情報処理論	2・3・4	2					○									
	体操授業実践実習	3・4	1						○								
	陸上競技授業実践実習	3・4	1						○								
	水泳授業実践実習	3・4	1						○								
	野外活動・スキー授業実践実習	3・4	1						○								
	サッカー授業実践実習	3・4	1						○								
	バスケットボール授業実践実習	3・4	1						○								
	剣道授業実践実習	3・4	1						○								
	器械運動	1・2・3・4	1						○								
	バレーボール	2・3・4	1						○								
	柔道	2・3・4	1						○								
	ダンス	2・3・4	1						○								
	スキー	1・2・3・4	1						○								
	バスケットボール	2・3・4	1						○								
	体育原理体育史演習Ⅰ	3・4	1						○								
	体育原理体育史演習Ⅱ	3・4	1						○								
	体育心理学演習Ⅰ	3・4	1						○								
	体育心理学演習Ⅱ	3・4	1						○								
	保健体育科教育学演習Ⅰ	3・4	1						○								
	保健体育科教育学演習Ⅱ	3・4	1						○								
	体育方法学演習ⅠA	3・4	1						○								
	体育方法学演習ⅡA	3・4	1						○								
	体育方法学演習ⅠB	3・4	1						○								
	体育方法学演習ⅡB	3・4	1						○								
	体育方法学演習ⅠC	3・4	1						○								
	体育方法学演習ⅡC	3・4	1						○								
	生理学・運動生理学演習Ⅰ	3・4	1						○								
	生理学・運動生理学演習Ⅱ	3・4	1						○								
	小計(44科目)		—	20	35	0		—		4	7	0	0	0			
	技術科教育専門科目	木材加工Ⅰ	2	2					○								集中
		木材加工及び実習Ⅰ	2	2													
金属加工実習Ⅰ		2	1														
機械実習Ⅰ		2	1														
電気実習Ⅰ		3	1														
栽培及び実習Ⅰ		2	2														
情報基礎及び実習		2	2														
栽培Ⅰ		2	2														
栽培Ⅱ		3・4	2														
金属加工Ⅰ		2	2														
金属加工Ⅱ		2	2														
金属加工Ⅲ	3・4	2															
機械Ⅰ	2	2															

(教育学部学校教員養成課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専修専門科目	機械Ⅱ	2		2		○			1						
	機械Ⅲ	3		2		○			1						
	電気Ⅰ	1・2		2		○				1					
	電気Ⅱ	2		2		○				1					
	電気Ⅲ	2・3		2		○				1					
	電気Ⅳ	2・3		2		○				1					
	栽培Ⅲ	3・4		2		○				1					
	栽培Ⅳ	3・4		2		○				1					
	情報基礎Ⅰ	2・3・4		2		○				1					
	栽培及び実習Ⅱ	3・4		2				○		1					
	金属加工Ⅳ	3・4		2		○			1						隔年開講
	金属加工Ⅴ	3・4		2		○			1						
	金属加工Ⅵ	3・4		2		○			1						
	金属加工実習Ⅱ	3・4		1				○		1					
	機械Ⅳ	3・4		2		○			1						隔年開講
	機械Ⅴ	3・4		2		○			1						隔年開講
	機械Ⅵ	3・4		2		○			1						
	機械実習Ⅱ	3		1				○		1					
	電気Ⅴ	3・4		2		○				1					
	電気Ⅵ	3・4		2		○				1					
電気実習Ⅱ	3		1				○		1						
技術科特別演習A	4		1				○		2	2					
技術科特別演習B	4		1				○		2	2					
	小計 (36科目)	—	11	53	0	—			2	2	0	0	0		
家庭科教育専修専門科目	家庭経営学Ⅰ	2	2			○				1					
	家庭経営学Ⅱ	3	2			○				1					
	被服学Ⅰ	1	2			○				1					
	被服学Ⅱ	2	2			○				1					
	被服学実験実習Ⅰ	1	2					○		2					
	食物学Ⅰ	2	2			○									
	食物学Ⅱ	2	2			○			1						
	食物学実験実習Ⅰ	1	2					○		1					
	住居学Ⅰ	1	2			○			1						
	住居学実験実習	3	2					○		1					
	保育学	2・3	2			○									隔年開講
	生活科学論	1	2			○			2	2					
	生活科学教育研究	3	2			○				1					
	生活科学教育演習	3	2			○				1					
	生活科学教育課題の分析	3	2				○			1					
	家庭経営学Ⅲ	3	2			○				1					
	家庭経営学実習	2・3	2					○		1					
	家庭経営学演習	3	2					○		1					
	家庭経営学課題の分析	3	2				○			1					
	被服学Ⅲ	3	2			○				1					
	被服学Ⅳ	3	2			○				1					
	被服学実験実習Ⅱ	2	2					○		1					
	被服学実験実習Ⅲ	2	2					○		1					
	被服学演習	3	2				○			2					
	被服学課題の分析	3	2				○			1					
	食物学Ⅲ	2	2			○			1						
	食物学Ⅳ	2	2			○									
	食物学実験実習Ⅱ	2	2					○		1					
	食物学実験実習Ⅲ	3	2					○		1					
	調理実習Ⅰ	2・3	2					○		1					
	調理実習Ⅱ	3・4	2					○		1					隔年開講
	食物学演習	3	2				○			1					隔年開講
食物学課題の分析	3	2				○			1						
住居学Ⅱ	2	2			○				1						
住居学Ⅲ	3	2			○				1						
住居学演習	3	2				○			1						
住居学課題の分析	3	2				○			1						
家庭看護学	3・4	2			○										
家庭電気・機械	2	2			○				1						
情報処理演習	2・3	2				○			1	4					
	小計 (40科目)	—	22	58	0	—			2	4	0	0	0		
英語教育専修専門科目	英語教育と英文法Ⅰ	2	2			○				1					
	英語教育と言語学Ⅰ	2	2			○				1					
	英語教育と英文学Ⅰ	2	2			○									
	英語教育と米文学Ⅰ	2	2			○				1					
	英語教育リスニング演習Ⅰ	2	1				○			1					
	英語教育スピーキング演習Ⅰ	1	1				○								
	英語教育ライティング演習Ⅰ	2	1				○			1					
	英語教育と異文化理解	3	2			○									
	英語教育と英文法Ⅱ	2	2			○				1					
	英語教育と英文法研究法Ⅰ	3・4	2			○				1					
英語教育と英文法研究法Ⅱ	3・4	2			○				1						

(教育学部学校教員養成課程)

科目 区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専修 専門 科目	英語教育と言語学Ⅱ	2		2		○				1					集中 集中 集中
	英語教育と言語学研究法Ⅰ	3・4		2		○				1					
	英語教育と言語学研究法Ⅱ	3・4		2		○				1					
	英語教育と音声学Ⅰ	1・2		2		○				1					
	英語教育と音声学Ⅱ	1・2		2		○				1					
	英語教育と音声学研究法Ⅰ	3・4		2		○				1					
	英語教育と音声学研究法Ⅱ	3・4		2		○				1					
	英語教育とコミュニケーション	3・4		2		○				1					
	英語教育とコミュニケーション研究法	3・4		2		○				1					
	英語教育と英文学Ⅱ	2		2		○									
	英文学教材研究Ⅰ	3・4		2		○									
	英文学教材研究Ⅱ	3・4		2		○									
	英語教育と米文学Ⅱ	2		2		○				1					
	米文学教材研究Ⅰ	3・4		2		○				1					
	米文学教材研究Ⅱ	3・4		2		○				1					
	英語教育リスニング演習Ⅱ	2		1			○			1					
	英語教育リスニング演習Ⅲ	3・4		1			○		1						
	英語教育リスニング演習Ⅳ	3・4		1			○		1						
	英語教育スピーキング演習Ⅱ	1		1			○								
	英語教育スピーキング演習Ⅲ	2		1			○								
	英語教育スピーキング演習Ⅳ	2		1			○								
	英語教育リーディング演習Ⅰ	3・4		1			○			1					
	英語教育リーディング演習Ⅱ	3・4		1			○			1					
	英語教育リーディング演習Ⅲ	3・4		1			○			1					
	英語教育リーディング演習Ⅳ	3・4		1			○			1					
	英語教育ライティング演習Ⅱ	2		1			○			1					
	英語教育ライティング演習Ⅲ	3		1			○		1						
	英語教育ライティング演習Ⅳ	3		1			○		1						
	英語総合演習Ⅰ	3・4		2			○		1						
	英語総合演習Ⅱ	3・4		2			○		1						
英語教育と異文化理解研究法	3		2			○									
初等英語科教育法	3・4		2			○									
英語科教育総合実践	4		2			○		1							
小計 (44科目)	—	13	59	0				2	5	0	0	0			
卒業 研究	卒業研究	4	6					40	42	1	0	0			
	小計 (1科目)	—	6	0	0			40	42	1	0	0			
合計 (663科目)		—	349	910	0			40	42	1	0	0			

(教育学部学校教員養成課程)

学位又は称号	学士 (教育学)	学位又は学科の分野	教育学・保育学関係
設 置 の 趣 旨 ・ 必 要 性			
<p>I 設置の趣旨・必要性</p> <p>今日、子供と学校を取り巻く状況は、ますます複雑で困難なものとなり、新潟県においても、学力問題、いじめ・不登校などの問題が山積している。</p> <p>このような中、学校教育を推進する鍵として最も重要なものは教員の資質・力量であり、そのためには養成段階における「教職課程の水準の向上」が不可欠である。また、団塊世代の退職に伴う教員不足が予測され、これに対して良質な教員を多数送り出すことが、本学部の責務である。</p> <p>具体的には、以下の内容により、その実現を図るものである。</p> <p>1. 目的意識をもった学生の確保等を狙いとした学部名称等の変更</p> <p>平成10年度に、「地域や社会の様々な分野で活躍する広い意味での教育者の養成」を目的として設置した「教育人間科学部」は、幅広い人材を社会へ輩出し、一定の役割を果たしてきた。しかしながら、その反面、学部の主目的が教員養成機能であることを曖昧とし、現在では、教員を志望しないにもかかわらず教員養成課程に入学してくる者が少なからず存在する状況となっている。</p> <p>本学部では、上記状況を踏まえ、「教員養成を中核とした学部」であることを明確にし、目的意識を持った学生の確保を図るなど、教員養成機能を総合的・抜本的に強化することを目指して、①学部名称の変更：「教育人間科学部」→「教育学部」、②課程名称の変更：「学校教育課程」→「学校教員養成課程」、③コース名称の変更：「教育科学コース」→「学校教育コース」、を実施するものである。</p> <p>2. 教員養成課程の定員見直し</p> <p>新潟県においては、平成24年度頃から平成40年度頃まで、教員採用数がほぼ400名以上で推移する見込である（平成18年度採用実績270名）。このことを踏まえ、教員養成課程の質的な向上及び本学部教員組織等を勘案し、入学定員を180人から220人（40人増員）とし、明確な目的意識を持った学生の確保と併せ、良質かつ安定的な教員の輩出に努めるものである。</p> <p>なお、増員の40人については、小学校教員志望者を対象とした推薦入学とすることとし、今回の改革を推し進めるものである。</p> <p>II 教育課程編成の考え方・特色</p> <p>1. 教員養成課程の質的向上</p> <p>(1) 教員養成課程が目指す「教員としての力量の到達目標」を明確に学生等へ提示することにより、その到達に向けた意識化、動機付けを図る。</p> <p>(2) 「4年一貫の教育実習」体制の下、学校教員の仕事や子供にふれながら学ぶ実践的・体験的学習の実施を踏まえ、以下の点を中心とした改革を行う。</p> <p>① 単位積み上げ方式からの脱却を目指したカリキュラムの教育プログラム化 教育目標に即した授業科目群として整理し、学年別に配置するとともに、各授業科目の教育目標を明示する。</p> <p>② 「4年一貫の教育実習」を中軸に据えたコアカリキュラム化 教育実習を目標に力量形成を図るとともに、実習の経験を共有し普遍化するための事後指導を強化する。</p> <p>③ 教育実習演習を含む「4年一貫の教職指導」の実施体制の構築 ポートフォリオによる自己の成長の確認と課題の明確化を図り、個別指導を含む指導体制を強化する。新潟県教育委員会との交流人事により現職教員を迎え、教職指導コーディネーターとして配置する。</p> <p>④ 「教科の力を基盤とした授業実践力」の形成 教科専門科目の教科内容学への変容を促進する。</p>			
卒 業 要 件 及 び 履 修 方 法		授 業 期 間 等	
<p>本学部に通算4年以上在学し、かつ、所定の単位を修得すること。 所定の単位は、教養教育に関する授業科目33単位、専門教育に関する授業科目70～88単位及び自由科目（教養教育に関する授業科目・専門教育に関する授業科目ほか）3～21単位。</p>		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	15 週
		1 時限の授業時間	90 分

教 育 課 程 等 の 概 要

(教育学部学習社会ネットワーク課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
(教養教育に関する授業科目) 別紙1参照															
(専門科目に関する授業科目)															
課程必修科目	生涯学習概論Ⅰ	1	2			○									
	生涯学習計画論Ⅰ	1	2			○									
	生涯学習概論Ⅱ	2	2			○									
	生涯学習計画論Ⅱ	2	2			○									
	学習社会基礎演習Ⅰ	2	2				○	○							
	学習社会基礎演習Ⅱ	2	2				○	○							
	学習社会演習Ⅰ	3	2				○	○		2	2				
	学習社会演習Ⅱ	3	2				○	○		2	2				
	学習社会演習Ⅲ	4	2				○	○		2	2				
	学習社会演習Ⅳ	4	2				○	○		2	2				
小計(10科目)	—	20	0	0	—				2	2	0	0	0		
課程選択必修科目	生涯学習論Ⅰ	2・3・4		2		○			1						
	生涯学習論Ⅱ	2・3・4		2		○									
	生涯学習論Ⅲ	2・3・4		2		○			1						
	生涯学習論Ⅳ	2・3・4		2		○			1						
	共生学習論Ⅰ	2・3・4		2		○				1					
	共生学習論Ⅱ	2・3・4		2		○				1					
	共生学習論Ⅲ	2・3・4		2		○									
	共生学習論Ⅳ	2・3・4		2		○									
	文化学習論Ⅰ	2・3・4		2		○									
	文化学習論Ⅱ	2・3・4		2		○									
	文化学習論Ⅲ	2・3・4		2		○				1					
	文化学習論Ⅳ	2・3・4		2		○				1					
	学習社会実習Ⅰ	2・3・4		2				○	1						集中
	学習社会実習Ⅱ	2・3・4		2				○	1						集中
学習社会実習Ⅲ	2・3・4		2				○							集中	
学習社会実習Ⅳ	2・3・4		2				○		1					集中	
小計(16科目)	—	0	32	0	—				2	2	0	0	0		
課程選択科目	教育の社会的・制度的・経営的研究	2・3・4		2		○									
	教育行政学	2・3・4		2		○									
	教育心理学	2・3・4		2		○			1						
	発達心理学	2・3・4		2		○			1						
	幼児心理学概論	2・3・4		2		○									
	幼児発達心理学	2・3・4		2		○									
	生涯発達心理学演習	2・3・4		2				○	1						
	学習統計実験演習	2・3・4		2				○							
	図書館学概論Ⅰ	2・3・4		2		○									隔年開講・集中
	図書館学概論Ⅱ	2・3・4		2		○									隔年開講・集中
	社会教育演習	2・3・4		2			○								集中
	比較制度論	2・3・4		2		○									集中
	比較文化論	2・3・4		2		○									集中
	多文化共生実習	2・3・4		2				○							集中
	日本文学史Ⅰ	2・3・4		2		○									
	日本史	2・3・4		2		○					1				
	社会学	2・3・4		2		○				1	1				
	政治学	2・3・4		2		○									
	法律学	2・3・4		2		○									
	経済学	2・3・4		2		○									
	哲学	2・3・4		2		○									
	倫理学	2・3・4		2		○									
	社会教育特講Ⅰ	2・3・4		2		○									集中
	社会教育特講Ⅱ	2・3・4		2		○									集中
	生涯学習概論Ⅲ	2・3・4		2		○									集中
	教育メディア論	2・3・4		2		○									集中
小計(26科目)	—	0	52	0	—				2	2	0	0	0		

(教育学部学習社会ネットワーク課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
卒業研究	卒業研究	4	6					○			3	3	0	0	0	
	小計(1科目)	—	6	0	0			—			3	3	0	0	0	
合計(53科目)		—	26	84	0			—			3	3	0	0	0	
学位又は称号	学士(人間科学)		学位又は学科の分野			教育学・保育学関係, 社会学・社会福祉学関係										
設置の趣旨・必要性																
<p>I 設置の趣旨・必要性</p> <p>教育人間科学部は、「地域や社会の様々な分野で活躍する広い意味での教育者の養成」へと人材養成の目標を拡大し、4つのいわゆる新課程(学習社会ネットワーク課程, 生活環境科学課程, 健康スポーツ科学課程, 芸術環境創造課程)を設置し、現在に至っている。「新課程」設置以来4課程で1,222名の卒業生を社会に送り出したが、本学部のこの10年間を総括すると、一定の使命と役割を果たしてきたと言える。しかし、この間、全国の教員養成系大学・学部をめぐる情勢は大きく変化し、新潟県においても、教員の大量採用時代を迎えようとしている。また、子供と学校を取り巻く環境はますます複雑で困難な状況にあり、学校教育や教員に対する国民の期待は従来のどの時期にも見られないほど高まりをみせている。</p> <p>本学部では、このような社会と時代の要請に対して的確・迅速に 대응するとともに、総合大学・新潟大学における教員養成機能を総合的・抜本的に強化するため、学校教育課程を拡充し、学習社会ネットワーク課程を縮減することとした。</p> <p>本学習社会ネットワーク課程では、例年20人から30人の学生が教員免許を取得し、また、教員養成課程に転課程を希望する学生が毎年5人程度存在する状況にある。</p> <p>これらのことから、今後の教員需要の高まりや生涯学習に対するニーズ等を踏まえ、入学定員の見直し(70名を45名とし、教員志望者数に相当する定員を学校教員養成課程へ振替)及びそれに伴うカリキュラムの改編を行い、社会情勢等に応じた適切な学生定員の配置と教育の質の維持・向上を図るものである。</p> <p>II 教育課程編成の考え方・特色</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定員減に伴い、指導体制を集約し、教育内容の専門化を図るため、現行の3コース制を1コース制に改める。 2. 1, 2年生に対しては、現代社会において生涯学習がもつ意義の基本的認識に資するため、生涯学習体系および生涯学習行政を概説する講義を必修科目として課す。 3. 自ら問題を発見し、探索し、プレゼンテーションするスキルの習得を図るため、1, 2年生に対しては全員が参加する形態で演習形式の授業を実施する。 4. 2~4年生においては、生涯学習体系の量的・質的拡充によって実現する「学習社会」の構想にあたって必要とされる多角的な視座を、より専門的に考究するカリキュラムを編成する。課程の担当教員は、各自が専攻する領域(教育科学分野, 行動科学分野, 社会科学分野, 人文学分野)の観点から生涯学習のもつ現代的意味を説く授業を選択必修科目として提供する。 5. 生涯学習の現場に触れる体験を通じてさまざまな現実的課題を探索する契機を提供するために、すべての学生に実習科目の履修を課す。実地の見聞をふまえることで、実効性と具体性の備わった学習社会の構想を描出する力を涵養する。 6. 演習科目および実習科目の学習成果は、報告書としてとりまとめ、学外にも積極的に公表していく。成果が人目に触れることを意識させることで、緊張感をもって学習に取り組む姿勢を育ていく。 																
卒業要件及び履修方法									授業期間等							
本学部に通算4年以上在学し、かつ、所定の単位を修得すること。 所定の単位は、教養教育に関する授業科目33単位、専門教育に関する授業科目56単位及び自由科目(教養教育に関する授業科目・専門教育に関する授業科目ほか)35単位。									1学年の学期区分				2期			
									1学期の授業期間				15週			
									1時限の授業時間				90分			

教 育 課 程 等 の 概 要

(教育学部生活科学課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
(教養教育に関する授業科目) 別紙1参照															
(専門科目に関する授業科目)															
課程必修科目	食生活論	1	2			○			1						
	食物と科学	2	2			○				1					
	被服学概論	1	2			○				1					
	被服環境学	2	2			○									
	住環境学概論	1	2			○									
	住環境科学	2	2			○									
	ライフデザイン論	2	2			○				1					
	生活と経済	2	2			○				1					
	生活科学総論	1	2			○			1	3					
	小計(9科目)		18	0	0		—		1	3	0	0	0		
課程選択必修科目	生活科学セミナーA	3		2			○		1						
	生活科学セミナーB	3		2			○			1					
	生活科学課題の分析A	3		2			○		1						
	生活科学課題の分析B	3		2			○			1					
	生活科学セミナーC	3		2			○								
	生活科学セミナーD	3		2			○			1					
	生活科学課題の分析C	3		2			○								
	生活科学課題の分析D	3		2			○			1					
	生活科学セミナーE	3		2			○								
	生活科学課題の分析E	3		2			○								
	生活科学セミナーF	3		2			○			1					
	生活科学課題の分析F	3		2			○			1					
	小計(12科目)		0	24	0		—		1	3	0	0	0		
課程選択科目	食生活と栄養	2		2		○			1						
	調理とおいしさの科学	2		2		○				1					
	ライフステージ栄養学	2・3		2		○			1						隔年開講
	栄養生理生化学	2・3		2		○			1						隔年開講
	食環境科学	2・3		2		○				1					隔年開講
	食品資源学	2・3		2		○				1					隔年開講
	食環境科学基礎実験	2		2				○	1						
	食環境科学応用実験	2・3		2				○	1						隔年開講
	調理とおいしさの科学実験	2・3		2				○		1					隔年開講
	基本調理実習	1		2				○		1					
	専門調理実習Ⅰ	2・3		2				○							隔年開講
	専門調理実習Ⅱ	2・3		2				○							隔年開講
	被服学実験実習	2		2				○			1				
	基礎感性評価	2・3		2			○				1				隔年開講
	被服材料学実験	2・3		2					○						
	着心地の科学	2・3		2			○				1				隔年開講
	繊維・高分子材料	2・3		2			○								隔年開講
	衣生活論特講	1・2・3・4		2			○								集中
	和装造形製作実習	2・3		2					○		1				隔年開講
	洋装造形製作実習	2・3		2					○		1				隔年開講
	機器分析実験実習	2・3		2					○						隔年開講
	インテリアデザイン	2		2			○								
	住宅製図基本実習	3		2					○						
	住環境科学実験実習	3		2					○						
	生活科学特別講義	1		2			○			1	1				
	女性労働論	3		2			○				1				
	現代家族論	3		2			○				1				隔年開講
	生活経営学実習	3		2					○		1				隔年開講
	生活経営研究A	2・3		2					○		1				
	生活経営研究B	2・3		2					○		1				
生活情報処理	2		2					○		2					
地域生活福祉実習(インターンシップ含む)	2		2					○		1					
保育環境論	3		2			○				1					

(教育学部生活科学課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
課程選択科目	家庭介護・看護学	3・4		2		○								
	生活工学	3		2		○								
	くらしと地域環境	1		2		○								
	生活システム概論	1		2		○								
	くらしと地理	2		2		○								
	生活文化論	2・3・4		2		○								
	まちづくりと法律	3		2		○								
小計(40科目)			0	80	0		—		1	4	0	0	0	
卒業研究	卒業研究	4	6				○		1	4	0	0	0	
	小計(1科目)		6	0	0		—		1	4	0	0	0	
合計(62科目)			24	104	0		—		1	4	0	0	0	
学位又は称号	学士(生活科学)		学位又は学科の分野			教育学・保育学関係, 家政関係								
設置の趣旨・必要性														
<p>I 設置の趣旨・必要性</p> <p>教育人間科学部は、「地域や社会の様々な分野で活躍する広い意味での教育者の養成」へと人材養成の目標を拡大し、4つのいわゆる新課程(学習社会ネットワーク課程, 生活環境科学課程, 健康スポーツ科学課程, 芸術環境創造課程)を設置し、現在に至っている。「新課程」設置以来4課程で1,222名の卒業生を社会に送り出したが、本学部のこの10年間で総括すると、一定の使命と役割を果たしてきたと言える。しかし、この間、全国の教員養成系大学・学部をめぐる情勢は大きく変化し、新潟県においても、教員の大量採用時代を迎えようとしている。また、子供と学校を取り巻く環境はますます複雑で困難な状況にあり、学校教育や教員に対する国民の期待は従来のどの時期にも見られないほど高まりをみせている。</p> <p>本学部では、このような社会と時代の要請に対して的確・迅速に応えるとともに、総合大学・新潟大学における教員養成機能を総合的・抜本的に強化するため、学校教育課程を拡充し、生活環境科学課程を縮減することとした。</p> <p>本生活環境科学課程は、「生活者の視点で環境を科学する課程」として設置し、家庭科, 理科, 数学を背景とする3コース制で教育を行ってきた。しかし、他学部での同類学科の設置, 中学校における数学や理科の教員需要の高まりなどから、本課程を取り巻く環境は変化してきており、入学定員の見直し(40名を15名とし, 教員志望者数に相当する定員を学校教員養成課程へ振替)及びそれに伴うカリキュラムの改編を行い、社会情勢等に応じた適切な学生定員の配置と教育の質の維持・向上を図るものである。</p>														
<p>II 教育課程編成の考え方・特色</p> <p>本課程は、生活者主体の新しい社会システムが求められるなか、生活行動を科学的, 総合的にコーディネートできる人材養成を実現するべく、次の考え方に基づいた教育課程を設ける。</p> <p>1 実践的なキャリア形成へ指向したカリキュラムの設定</p> <p>① 1・2年次では生活科学全般の基礎的・導入的授業科目(必修科目)を開設し、3・4年次では被服学・食物学・住居学・家庭経営学の各領域での専門性に深化した授業科目を必修科目および選択科目として開設する。また、他学部および放送大学を含む本課程以外の関連する専門科目についても自由科目として履修できる。</p> <p>② 講義科目に対応する演習・実験実習科目を多く設置し、座学だけでは習得しがたい実践的, 経験的な技能, スキルを習得する。</p> <p>③ 企業, 役所等への就業体験(キャリアインターンシップ)を単位化し、学生の職業観の萌芽・育成を支援する。</p> <p>④ 各種資格の取得を積極支援するべく、各資格に対応する本課程開設科目および学部内外の授業科目を組み合わせたモデルカリキュラムを設定する。</p>														
卒業要件及び履修方法								授業期間等						
<p>本学部に通算4年以上在学し、かつ、所定の単位を修得すること。</p> <p>所定の単位は、教養教育に関する授業科目33単位, 専門教育に関する授業科目61単位及び自由科目(教養教育に関する授業科目・専門教育に関する授業科目ほか)30単位。</p>								1学年の学期区分			2期			
								1学期の授業期間			15週			
								1時限の授業時間			90分			

教 育 課 程 等 の 概 要

(教育学部健康スポーツ科学課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
(教養教育に関する授業科目) 別紙1参照																
(専門科目に関する授業科目)																
課程共通必修科目	スポーツ医学	2	2			○										集中
	スポーツ指導論	3	2			○					1					
	スポーツ心理学	2	2			○										
	スポーツ行政論	2	2			○										
	栄養学	2	2			○										
	スポーツ生理学Ⅰ	2	2			○										
	スポーツ生理学Ⅱ	2	2			○										
	体力トレーニング論	2	2			○						1				
	スポーツバイオメカニクス	2	2			○						1				
	救急処置法	1	2			○										
	社会スポーツ概論	3	2			○					1					
	健康運動生活論	1	2			○										
	発育発達論	3	2			○										
	障害者運動論	2	2			○										
	身体運動文化論	1	2			○						1				
	体力トレーニング論演習	2	2					○				1				
ゴルフ	3・4	1						○		1						
スキー	2・3・4	1						○		2						
小計 (18科目)	—	34	0	0	—				2	4	0	0	0			
コース必修科目	ヘルスプロモーション・ウェルネス概論	2	2			○									集中	
	健康心理学	3	2			○										
	保養論	3	2			○										
	ヘルスプロモーション実習	3	2					○		2	6					
	ヘルスプロモーション研究演習Ⅰ	3	4					○								
	ヘルスプロモーション研究演習Ⅱ	4	4					○								
	小計 (6科目)	—	16	0	0	—				2	6	0	0	0		
コーススポーツ科学	体力診断論	3	2			○				1						
	運動処方論	3	2			○										
	機能解剖学	2・3	2			○										
	社会スポーツ指導実習	3	2					○		2	6					
	スポーツ科学研究演習Ⅰ	3	4					○		2	4					
	スポーツ科学研究演習Ⅱ	4	4					○		2	4					
小計 (6科目)	—	16	0	0	—				2	6	0	0	0			
課程共通選択科目	講義科目														集中	
	公衆衛生学	3		2		○					1					
	スポーツ教育論	3		2		○					1					
	スポーツマネジメント論	3		2		○										
	体育スポーツ史	2		2		○										
	体育スポーツ原理	2		2		○										
	スポーツ経営学	2		2		○										
	ライフスキル論	2		2		○										
	身体運動論	3		2		○				1						
	健康教育概論	3		2		○					1					
	健康スポーツ情報処理論	1		2		○					1					
	健康政策論	3		2		○										
野外活動論	2		2		○											
小計 (12科目)	—	0	24	0	—				1	4	0	0	0			
実践科目	ウエルネスコミュニケーション演習	3		2				○							集中	
	スポーツコミュニケーション演習	3		2				○		1						
	バレーボール	1・2・3・4		1							1					
	バドミントン	1・2・3・4		1							1					
	エアロビクス・エクササイズ	1・2・3・4		1												
	サッカー	1・2・3・4		1							1					
	野外活動	1・2・3・4		1												
	卓球	1・2・3・4		1							1					
	レクリエーション・スポーツ	1・2・3・4		1												
	水泳	1・2・3・4		1												
	体操	1・2・3・4		1												
	バスケットボール	1・2・3・4		1						1						
小計 (12科目)	—	0	14	0	—				1	4	0	0	0			

(教育学部健康スポーツ科学課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
卒業研究	卒業研究	4	6					○		2	6	0	0	0	
	小計(1科目)	—	6	0	0			—		2	6	0	0	0	
合計(55科目)		—	72	38	0			—		2	6	0	0	0	
学位又は称号		学士(健康スポーツ科学)		学位又は学科の分野			教育学・保育学関係, 体育関係								
設置の趣旨・必要性															
<p>I 設置の趣旨・必要性</p> <p>教育人間科学部は、「地域や社会の様々な分野で活躍する広い意味での教育者の養成」へと人材養成の目標を拡大し、4つのいわゆる新課程(学習社会ネットワーク課程, 生活環境科学課程, 健康スポーツ科学課程, 芸術環境創造課程)を設置し、現在に至っている。「新課程」設置以来4課程で1,222名の卒業生を社会に送り出したが、本学部のこの10年間で総括すると、一定の使命と役割を果たしてきたと言える。しかし、この間、全国の教員養成系大学・学部をめぐる情勢は大きく変化し、新潟県においても、教員の大量採用時代を迎えようとしている。また、子供と学校を取り巻く環境はますます複雑で困難な状況にあり、学校教育や教員に対する国民の期待は従来どの時期にも見られないほど高まりをみせている。</p> <p>本学部では、このような社会と時代の要請に対して的確・迅速に応えるとともに、総合大学・新潟大学における教員養成機能を総合的・抜本的に強化するため、学校教育課程を拡充し、新課程の一部(学習社会ネットワーク課程及び生活環境科学課程)を縮減することとした。</p> <p>本健康スポーツ科学課程は、国民の健康維持増進のニーズや、生涯にわたるスポーツ文化を享受する権利を保障する指導者の育成を目的として教育を行っており、主に健康問題に関わる指導者やスポーツを取り巻く諸問題に関わる指導者を輩出している。このことは、社会の要請に応えるものであり、学部改組後も現行の形で継続していくものである。</p>															
<p>II 教育課程編成の考え方・特色</p> <p>本課程においては、広い心、健やかな体、豊かな創造力を養うことによって国際的視野を持った、自由で自律的な社会人を育成する教養教育と、健康やスポーツに関する様々な問題を、種々の科学的方法を用いて分析・解釈しながら、健康や身体運動についての高度な知識、技能を身につける専門教育を両軸としてカリキュラムを構成している。また、専門教育においては、講義、演習、実験・実習に加えて実技を組み合わせている。</p>															
卒業要件及び履修方法										授業期間等					
本学部に通算4年以上在学し、かつ、所定の単位を修得すること。 所定の単位は、教養教育に関する授業科目33単位、専門教育に関する授業科目72単位及び自由科目(教養教育に関する授業科目・専門教育に関する授業科目ほか)19単位。										1学年の学期区分			2期		
										1学期の授業期間			15週		
										1時限の授業時間			90分		

教 育 課 程 等 の 概 要

(教育学部芸術環境創造課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
(教養教育に関する授業科目) 別紙1参照														
(専門科目に関する授業科目)														
必修 課程 共通 科目	芸術文化論	1	2				○							
	芸術と概念	1	2				○							
	総合芸術実践 I	2・3	2					○						
	小計 (3科目)	—	6	0	0			—						
課程 共通 選択 科目	総合芸術実践 II	2・3・4	2					○						
	西洋芸術学入門	2・3	2				○							
	音楽文化論	2・3・4	2				○							
	環境空間の倫理	2・3・4	2				○							
	ダンス	2・3・4	2							○				
	芸術ソフト開発	3	2						○					
	文学とコミュニティ	2・3・4	2				○							
	多文化教育コミュニケーション	2・3・4	2				○							
	伝統文化保存論	2・3・4	2				○							
	現代の書	2・3	2				○				1			
	東洋書画論	2・3	2				○							
	作品構成技法論	2・3・4	2						○					
	地域芸術実践 A	2・3・4	2						○					
	地域芸術実践 B	2・3・4	2						○					
	地域芸術実践 C	2・3	2						○					
小計 (15科目)	—	0	30	0			—							
コース 必修 科目	音楽背景論	2	2				○							
	音楽構造論	1	2				○							
	音楽認知論 I	2・3・4	2				○							
	音楽認知論 II	2・3・4	2				○							
	多文化音楽論 I	2	2				○							
	多文化音楽論 II	2	2				○							
	地域社会音楽論 I	1・2・3	2				○							
	地域社会音楽論 II	1・2・3	2				○							
	音楽基礎実践	1	2							○				
	音楽コミュニケーション論 I	1	2				○				1			
	音楽コミュニケーション論 II	1	2				○				1			
	作曲技法論 I	2	2				○							
	小計 (12科目)	—	24	0	0			—						
造形 表現 コース	基礎芸術学	2・3・4	2				○							
	絵画表現論 A	1	2							○				
	絵画表現論 B	1	2							○				
	立体造形論	1	2							○				
	機能造形論	2・3・4	2							○				
	デザイン論	1	2							○				
	日本・東洋美術の展開	2・3	2				○							
	西洋美術の伝統と現代	2・3	2				○							
	造形と環境	3	2				○							
	地域美術論	3	2						○					
	立体造形素材演習	2・3	2						○					
	比較造形論	2・3・4	2				○							
小計 (12科目)	—	24	0	0			—							
書 表現 コース	楷書法	1	2						○					
	行書法	2	2						○					
	草書法	3	2						○					
	篆隸法	4	2						○					
	かな書法	1	2						○					
	かなの表現	2・3・4	2						○					
	日本書道史論 I	2・3	2				○							
	日本書道史論 II	2・3	2				○							
	中国書道史論 I	2・3	2				○							
	中国書道史論 II	2・3	2				○							
	漢文学	2・3	2				○							
	文献研究	2・3	2				○							
小計 (12科目)	—	24	0	0			—							
コース 選択 科目 (A群)	音楽マネジメント I	2・3・4	2				○							
	音楽マネジメント II	2・3・4	2				○							
	音楽学概論 I	1・2	2				○							
	音楽学概論 II	1・2	2				○							
	創作実践 I	1・2・3・4	2				○							
	創作実践 II	1・2・3・4	2				○							
	音楽教育入門 I	1	1				○							
	音楽教育入門 II	1	1				○							
	20世紀の芸術	3・4	2				○							
	音楽社会論 I	2・3・4	2				○							
	音楽社会論 II	2・3・4	2				○							

(教育学部芸術環境創造課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
コース選択科目 (A群)	音楽表現コース	作曲技法論Ⅱ	2・3	2		○			1								
		音楽実践指導論A	2・3	2			○			1							
		音楽実践指導論B	2・3	2			○										
		音楽実践指導論C	2・3・4	2			○										
		音楽実践指導論D	2・3・4	2			○										
		集団音楽活動論A	2・3・4	2						1							
		集団音楽活動論B	2・3・4	2													
		集団音楽活動論C	2・3・4	2													
		小計 (19科目)	—	0	36	0	—			2	1	0	0	0			
	造形表現コース		現代美術と社会	2・3・4	2		○										隔年開講
			日本画と現代生活	2・3・4	2		○										隔年開講
			環境デザイン形成論	2・3・4	2		○										
			生活空間デザイン論	2・3・4	2		○										
			美術批評論	3・4	2			○									
			造形教育方法論	2	2		○				1						
			応用絵画	2・3・4	2												
			造形形態学	2・3	2		○										
			小計 (8科目)	—	0	16	0	—			0	1	0	0	0		
	書表現コース		比較芸術学	2・3	2		○			1							
		書芸術論	3・4	2		○			1								
		碑法帖論	2・3・4	2		○				1							
		書鑑賞論	2・3	2		○											
		創作研究	3・4	2			○										
		生活書論	3・4	2			○										
		書とデザイン	3・4	2			○			1							
		壁面書構成Ⅰ	2・3	2					1								
		壁面書構成Ⅱ	2・3	2					1								
		書道科教育法Ⅰ	2・3・4	2		○				1							
		書道科教育法Ⅱ	2・3・4	2		○				1							
		小計 (11科目)	—	0	22	0	—			2	1	0	0	0			
コース選択科目 (B群)		音楽表現コース	演奏の心理	2・3・4	2		○										集中
		マスメディアと音楽	2・3・4	2		○										集中	
		舞台芸術	2・3・4	2		○											
		教科心理学	2・3・4	2		○											
		地域社会音楽特論	2・3・4	2		○											
		コンピュータ援用音楽論Ⅰ	2・3・4	2		○				1							
		コンピュータ援用音楽論Ⅱ	2・3・4	2		○				1							
		声楽アンサンブル	2・3・4	2													
		音楽技法論A	2・3・4	1												集中	
		音楽技法論B	2・3・4	1												集中	
		音楽技法論C	2・3・4	1												集中	
		音楽技法論D	2・3・4	1												集中	
		音楽技法論E	2・3・4	1													
		理論実践	3・4	2				○		1							
		作曲・理論実践Ⅰ	1・2・3・4	2						1							
		作曲・理論実践Ⅱ	1・2・3・4	2						1							
		音楽楽曲研究A	2・3	2							1						
		音楽楽曲研究B	2・3	2													
		音楽楽曲研究C	2・3・4	2													
		音楽楽曲研究D	2・3・4	2													
		音楽楽曲研究E	2・3	1													
		音楽課題研究	3・4	2						2	1					集中	
		弦楽アンサンブルⅠ	1・2・3・4	2													
		弦楽アンサンブルⅡ	1・2・3・4	2													
		弦楽器実践	1・2・3	2													
	小計 (25科目)	—	0	44	0	—			2	1	0	0	0				
造形表現コース		現代絵画表現	2・3・4	2												隔年開講	
		日本画表現	2・3・4	2												隔年開講	
		インスタレーション	2・3・4	2		○											
		空間造形表現A	2・3・4	2						1							
		空間造形表現B	2・3・4	2													
		機能造形表現A	2・3・4	2												隔年開講	
		機能造形表現B	2・3・4	2												隔年開講	
		機能造形表現C	2・3・4	2												隔年開講	
		ビジュアルデザイン	2・3	2												集中	
		映像制作実践	1・2・3・4	2				○									
		平面表現課題A	2・3・4	2													
		平面表現課題B	2・3・4	2													
		環境造形課題A	2・3・4	2						1							
		環境造形課題B	3	2													
		機能造形課題	2・3・4	2												集中	
		造形芸術学課題A	3	2						1						隔年開講・集中	
	造形芸術学課題B	3	2														
	造形芸術学課題C	3	2						1	1							
	造形芸術学課題D	4	2						1	1							
	西洋美術史特論	2・3・4	2		○												
	小計 (20科目)	—	0	40	0	—			3	1	0	0	0				

(教育学部芸術環境創造課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
コース選択科目(B群)	中国書史特論	2・3・4		2		○			1					隔年開講 隔年開講 集中
	書用材論	2・3・4		2		○								
	古筆学特論	2・3・4		2		○								
	刻書表現	2・3・4		2			○							
	暮らしと書式	2・3・4		2			○							
	地域文化論	2・3・4		2		○								
小計(6科目)	—	0	12	0	—	—	—	1	1	0	0	0		
卒業研究	卒業研究	4	6				○		6	3	0	0	0	
	小計(1科目)	—	6	0	0	—	—	—	6	3	0	0	0	
合計(144科目)		—	84	200	0	—	—	—	6	3	0	0	0	
学位又は称号		学士(芸術)		学位又は学科の分野			教育学・保育学関係, 美術関係, 音楽関係							
設置の趣旨・必要性														
<p>I 設置の趣旨・必要性</p> <p>教育人間科学部は、「地域や社会の様々な分野で活躍する広い意味での教育者の養成」へと人材養成の目標を拡大し、4つのいわゆる新課程(学習社会ネットワーク課程, 生活環境科学課程, 健康スポーツ科学課程, 芸術環境創造課程)を設置し、現在に至っている。「新課程」設置以来4課程で1,222名の卒業生を社会に送り出したが、本学部のこの10年間の総括すると、一定の使命と役割を果たしてきたと言える。しかし、この間、全国の教員養成系大学・学部をめぐる情勢は大きく変化し、新潟県においても、教員の大量採用時代を迎えようとしている。また、子供と学校を取り巻く環境はますます複雑で困難な状況にあり、学校教育や教員に対する国民の期待は従来どの時期にも見られないほど高まりをみせている。</p> <p>本学部では、このような社会と時代の要請に対して的確・迅速に応えるとともに、総合大学・新潟大学における教員養成機能を総合的・抜本的に強化するため、学校教育課程を拡充し、新課程の一部(学習社会ネットワーク課程及び生活環境科学課程)を縮減することとした。</p> <p>本芸術環境創造課程は、「音楽表現」、「造形表現」及び「書表現」の3コースを設けることによりそれぞれの芸術の専門性を追求するとともに、3コース共通のカリキュラムを総合的に履修することにより、芸術実践力を養成している。本課程に対する社会からのニーズ等を踏まえ、学部改組後も現行の形で継続していくものである。</p>														
<p>II 教育課程編成の考え方・特色</p> <p>本課程においては、芸術の表現と教育を通じて芸術文化活動を推進できる人材の育成を目的としてカリキュラムを編成している。具体的には、教養教育を基礎として、幅広く芸術を学び、更に専門的な表現と理論を学び、芸術教育力をはじめとして、実社会の多面的な要請に応えることのできる芸術応用力を身につけるために、様々な表現領域や新表現、隣接する専門分野や教育関連の知識と実践に関わる専門教育に関する授業科目を広く履修するよう指導している。</p>														
卒業要件及び履修方法								授業期間等						
<p>本学部に通算4年以上在学し、かつ、所定の単位を修得すること。 所定の単位は、教養教育に関する授業科目33単位、専門教育に関する授業科目68単位及び自由科目(教養教育に関する授業科目・専門教育に関する授業科目ほか)23単位。</p>								1学年の学期区分		2期				
								1学期の授業期間		15週				
								1時限の授業時間		90分				

教 育 課 程 等 の 概 要

(教育学部全課程共通 教養教育に関する授業科目)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教養教育に関する授業科目	英語	基礎英語	1	1			○		2	1					
	共通英語	1	1				○		3	1					
	発展英語	1・2	2				○			3					
	応用英語	2・3		2			○			2					
	小計 (4科目)	—	4	2	0		—		3	5	0	0	0		
初修外国語	外国語ベーシック I	1		2			○		5	5					
	外国語ベーシック II	1		3			○		4	3					
	ドイツ語インテンシブ I	1・2・3		4			○		2	1					
	ドイツ語インテンシブ II	1・2・3		4			○		2	1					
	ドイツ語スタンダード I	1		3			○		2						
	ドイツ語スタンダード II	1		3			○		2						
	ドイツ語セミナー	2・3		2			○		1						
	コミュニケーション・ドイツ語	2・3		2			○		1	1					
	フランス語スタンダード I	1		3			○		1	1					
	フランス語スタンダード II	1		3			○							1	
	フランス語セミナー	2・3		2			○		1						
	コミュニケーション・フランス語	2・3		2			○								
	ロシア語インテンシブ I	1・2・3		4			○			1					
	ロシア語インテンシブ II	1・2・3		4			○		1						
	ロシア語スタンダード I	1		3			○								
	ロシア語スタンダード II	1		3			○								
	ロシア語セミナー	2・3		2			○			1					
	コミュニケーション・ロシア語	2・3		2			○								
	中国語スタンダード I	1		3			○		1	2					
	中国語スタンダード II	1		3			○		1	2					
	中国語セミナー	2・3		2			○								
	コミュニケーション・中国語	2・3		2			○								
	朝鮮語インテンシブ I	1・2・3		4			○			1					
	朝鮮語インテンシブ II	1・2・3		4			○			2					
	朝鮮語スタンダード I	1		3			○								
	朝鮮語スタンダード II	1		3			○								
	朝鮮語セミナー	2・3		2			○			1					
	コミュニケーション・朝鮮語	2・3		2			○								
	スペイン語スタンダード I	1		3			○								
	スペイン語スタンダード II	1		3			○								
	スペイン語スタンダード III	2・3		1			○								
	スペイン語スタンダード IV	2・3		1			○								
	スペイン語セミナー	2・3		2			○								
	コミュニケーション・スペイン語	2・3		2			○								
	イタリア語スタンダード I	1		3			○			1					
	イタリア語スタンダード II	1		3			○			1					
	イタリア語スタンダード III	2・3		1			○								
	イタリア語スタンダード IV	2・3		1			○								
	コミュニケーション・イタリア語	2・3		2			○								
	外国語スペシャル	2・3		2			○			1					
	外国語セミナー	2・3		2			○			1					
	小計 (41科目)	—	0	105	0		—		10	11	0	0	1		
健康・スポーツ	健康スポーツ科学講義	1	2				○		2	3	4				
	健康スポーツ科学実習 I	1	1							4					
	健康スポーツ科学実習 II	2	1						3	5					
	小計 (3科目)	—	3	1	0		—		5	9	4	0	0		
情報リテラシー	UNIXリテラシー演習	1・2		2			○			1		1			
	コンピュータセキュリティ入門	1・2		2			○			1					
	コンピュータネットワーク概論	1・2		2			○			1					
	プログラミング概論	1・2		2			○			1					
	プログラミング基礎演習	1・2		2			○			1		2			
	情報リテラシー	1・2		2			○			1					
	情報機器操作入門	1・2		2			○		1						
	情報教育論	1・2		2			○		4	6	1		1		
	情報処理概論 A I	1・2		2			○		1						
	情報処理概論 A II	1・2		2			○		1						
	情報処理概論 C	1・2		2			○		1						
	情報処理概論 C 演習	1・2		2			○		1						
	小計 (12科目)	—	0	24	0		—		7	9	1	3	0		

(教育学部全課程共通 教養教育に関する授業科目)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育に関する授業科目	GISリテラシー入門	1・2		2		○			7	2	1			
	HSK(漢語水平考試験) 受験対策講座07	1・2		2		○				1				
	エネルギー概論 I	1・2		2		○				1		1		
	エネルギー概論 II	1・2		2		○				1				
	キャリアデザイン	1・2		2		○			1					
	キャリアを共に考える-自己理解・他者理解	1・2		2		○				1				
	キャリア意識形成と自己成長	1・2		2		○				2				
	キャリア形成	1・2		2		○			1					
	コメ産業論	1・2		2		○			1	2		1		
	コロキウム II	1・2		2		○				1				
	シアター	1・2		2		○			1					
	わが学問・教育	1・2		2		○			5					
	異文化コミュニケーションA	1・2		2		○				1				
	異文化コミュニケーションB	1・2		2		○				2				
	異文化を考える～国際関係・国際協力の視	1・2		2		○			9	3				
	医療倫理学入門	1・2		2		○				1				
	越後から見た原始・古代の地域像	1・2		2		○								
	越後平野の成り立ちと生活	1・2		2		○			1	2				
	応用国際関係論：環境と開発を巡る南北関	1・2		2		○			1					
	開発途上国の環境と開発：事例研究	1・2		2		○			1					
	環境政策学：日本の環境問題の歴史と政策	1・2		2		○			1					
	広域比較言語人類学入門	1・2		2		○			1					
	考える葦の冒険	1・2		2		○			1					
	災害復興科学	1・2		2		○				1				
	自然と文明	1・2		2		○			10	3				
	上海に行こう I	1・2		2		○				1				
	上海に行こう II	1・2		2		○				1				
	新潟“雪”物語－雪の科学と文化を探る－	1・2		2		○			1					
	新潟と多文化共生社会	1・2		2		○				1				
	新潟の地質・災害をさぐる	1・2		2		○				1				
	新潟学－ファンリテーター編－	1・2		2		○				1				
	新潟学－新潟まつり編－	1・2		2		○			1	1				
	新潟学－地域編－	1・2		2		○			1	1				
	新潟大学が育んだ私の世界・私の夢	1・2		2		○			1					
	新聞を体験する－新潟日報との連携授業－	1・2		2		○				1				
	新聞を通してみた社会	1・2		2		○								
	水を巡る農の旅	1・2		2		○			3	2				
	数理の世界	1・2		2		○			2	2				
	世界の自然災害	1・2		2		○			3	3				
	大学生活を考える	1・2		2		○			3	2				
	地域からの世界史	1・2		2		○			3	1				
	地域から文化を考える	1・2		2		○			1					
	地域に生きる思想	1・2		2		○			1					
	地域を探る	1・2		2		○			8	2				
	地理情報システム (GIS) 概論・演習	1・2		2		○			1					
	中国留学準備講座 I	1・2		2		○				1				
	中国留学準備講座 II	1・2		2		○				1				
	東アジア共同体可能性と中国外交	1・2		2		○				1				
	比較地域社会学	1・2		2		○			1					
	平和を考える in 新潟	1・2		2		○			4					
	平和を考えるA	1・2		2		○			4					
	平和を考えるB	1・2		2		○			4	1				
	留学生と学ぶ日本の企業文化	1・2		2		○			1					
	留学生と考える日本の宗教 I	1・2		2		○				1				
	留学生と考える日本の宗教 II	1・2		2		○				1				
	留学生と考える日本の歴史 I	1・2		2		○				1				
	留学生と考える日本の歴史 II	1・2		2		○				1				
小計 (57科目)		—	0	114	0		—	54	28	1	2	0		
大学学習法	スタディ・スキルズA	1		2			○		1	1				
	スタディ・スキルズB	1		2			○		3	1	1			
	スタディ・スキルズC	1		2			○		1	2				
	スタディ・スキルズD	1		2			○		1	2				
	スタディ・スキルズE	1		2			○		3	3				
	スタディ・スキルズF	1		2			○		2	2				
	スタディ・スキルズG	1		2			○			1				
	スタディ・スキルズH	1		2			○		2	1				
	スタディ・スキルズI	1		2			○			1				
	スタディ・スキルズJ	1		2			○		1	1				

(教育学部全課程共通 教養教育に関する授業科目)

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育に関する授業科目	大学 学 習 法	スタディ・スキルズK	1	2			○		1						
		スタディ・スキルズL	1	2			○		1						
		スタディ・スキルズM	1	2			○		4	4					
		スタディ・スキルズN	1	2			○		5	3					
		スタディ・スキルズO	1	2			○		1						
		スタディ・スキルズP	1	2			○		2	3					
		スタディ・スキルズQ	1	2			○		1						
		スタディ・スキルズR	1	2			○		3	5					
		小計(18科目)	—	0	36	0		—	32	30	1	0	0		
	自然系 共通 基礎 ・ 自然 科学	エレクトロニクスへの招待	1・2	2			○		5	4			1		
		くらしと環境	1・2	2			○		7	5	1				
		くらしと数理	1・2	2			○		3	1					
		くらしと微生物	1・2	2			○		2	3					
		ゲノム科学	1・2	2			○			1					
		コンピュータへの招待	1・2	2			○		6	1					
		データ解析法	1・2	2			○		1						
		化学の教養Aー物質を知るー	1・2	2			○		1						
		化学基礎A	1・2	2			○			1					
		科学・技術と社会	1・2	2			○		6						
解析の数理		1・2	2			○			1						
基礎有機化学		1・2	2			○		2							
極微の世界		1・2	2			○			1						
計測と制御		1・2	2			○			3						
数学の世界		1・2	2			○		2	2						
生きている地球		1・2	2			○		7	3	1					
生活を支える化学技術ー化学工学への招待		1・2	2			○		4	4						
生物学基礎A		1・2	2			○		2	3						
生物学基礎B		1・2	2			○		1	2						
生物学ー細胞・分子Aー		1・2	2			○		1							
生物学ー細胞・分子Bー		1・2	2			○			1						
生物学ー植物Dー		1・2	2			○		1							
生物学ー植物Eー		1・2	2			○		1							
生物学ー生態Aー		1・2	2			○			1						
生物学ー動物Aー		1・2	2			○		1							
生物学ー動物Bー		1・2	2			○		1							
生物学ー動物Gー		1・2	2			○		1							
生物資源論		1・2	2			○		5				1			
生命と環境の化学 I		1・2	2			○		2	1						
生命と環境の化学 II		1・2	2			○		2	1						
代数・幾何の数理		1・2	2			○			1						
地学C (マグマと火山)		1・2	2			○			1						
地学E (地球理解の諸相)		1・2	2			○			1						
地学F (恐竜の科学)		1・2	2			○					1				
地学G (新潟大学周辺の地学)		1・2	2			○		1							
地学概論A		1・2	2			○		1	1		1				
地学概論B		1・2	2			○		1	2						
地学基礎A		1・2	2			○		2							
地学基礎B		1・2	2			○		1							
地学基礎C		1・2	2			○		1							
地学実験A		1・2	2			○		1			1				
地学実験B		1・2	2			○		2							
地学実験C	1・2	2			○			2							
地学実験D	1・2	2			○			1		1					
地球と気象	1・2	2			○		1								
物質の世界	1・2	2			○		1								
物理学への招待A	1・2	2			○		1								
物理学への招待B	1・2	2			○			1							
物理学基礎A I	1・2	2			○		3								
物理学基礎A II	1・2	2			○		1								
物理学基礎B I	1・2	2			○		1								
小計(51科目)	—	0	102	0		—	66	41	4	2	0				

(教育学部全課程共通 教養教育に関する授業科目)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
教養教育に関する授業科目	EU入門	1・2		2		○			1							
	キャリアデザイン I	1・2		2		○			1	1						
	キャリアデザイン II	1・2		2		○			1	1						
	ジェンダー論	1・2		2		○			8	3		1				
	デザイン論	1・2		2		○				1						
	ビジネス書道入門	1・2		2		○				1						
	マス・メディア論	1・2		2		○				1						
	英語による日本経済史	1・2		2		○				1						
	音と音楽の認知心理学	1・2		2		○				1						
	音楽D	1・2		2		○				1						
	音楽E	1・2		2		○				1						
	音楽F	1・2		2		○				1						
	外国研究基礎	1・2		2		○				4	1					
	外国語アネックスJ	1・2		2		○					1					
	外国語アネックスK	1・2		2		○					1					
	外国語アネックスL	1・2		2		○					1					
	環境倫理学	1・2		2		○				1						
	教養の心理学	1・2		2		○										
	刑事法基礎 I	1・2		2		○					1					
	刑事法基礎 II	1・2		2		○					1					
	鯨とイルカの文化政治学	1・2		2		○				1						
	憲法基礎 I	1・2		2		○				1						
	憲法基礎 II	1・2		2		○					1					
	現代トレーニングの科学	1・2		2		○				1	1					
	現代社会論	1・2		2		○				1						
	現代政治経済学入門	1・2		2		○				1						
	行政学総論	1・2		2		○				1						
	行政法総論	1・2		2		○				1						
	国際関係論	1・2		2		○										
	国際法概論	1・2		2		○				1						
	裁判法基礎	1・2		2		○					1					
	思想史演習K	1・2		2		○					1					
	詩作演習	1・2		2		○				1						
	社会学とは何か	1・2		2		○				1						
	社会学的思考法	1・2		2		○				1						
	社会心理学入門	1・2		2		○					1					
	書道芸術A	1・2		2		○					1					
	心と社会	1・2		2		○					1					
	心の科学	1・2		2		○					1					
	心理学	1・2		2		○					1					
	心理学通論	1・2		2		○				1						
	心理診断学的臨床心理学	1・2		2		○						1				
	人間と社会	1・2		2		○				1						
	性格心理学	1・2		2		○					1					
	政策科学概論	1・2		2		○				1						
	政治学	1・2		2		○				1						
	政治学基礎	1・2		2		○				1						
	政治社会学	1・2		2		○				1						
	西欧政治史 I	1・2		2		○				1						
	西欧政治史 II	1・2		2		○				1						
	西洋文化研究演習 B	1・2		2		○				1						
	西洋文学 L I	1・2		2		○				1						
西洋文学 L II	1・2		2		○				1							
西洋文学 M	1・2		2		○				1							
造形表現論	1・2		2		○				1							
対人行動の心理学	1・2		2		○											
地域社会のリフレクション	1・2		2		○				2	1						
中国政治史	1・2		2		○				1							
中国法史	1・2		2		○				1							
東洋の思想・文化	1・2		2		○				1							
東洋美術史 A I	1・2		2		○				1							
東洋美術史 A II	1・2		2		○				1							
働くことの意味	1・2		2		○					1						
特殊講義 (メディアと政治)	1・2		2		○				1							
特殊講義 (国際政治史)	1・2		2		○											
特殊講義 (政治制度論)	1・2		2		○				1							
特殊講義 (西洋政治思想史)	1・2		2		○				1							
特殊講義 (日本近代外交史)	1・2		2		○											

(教育学部全課程共通 教養教育に関する授業科目)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
教 養 教 育 に 関 す る 授 業 科 目	人文社会・教育科学	特殊講義（日本政治思想史）	1・2	2		○											
		日経新聞から見た経済	1・2	2		○							1				
		日本近代文学C	1・2	2		○							1				
		日本古典文学D	1・2	2		○											
		日本古典文学F	1・2	2		○					1						
		日本古典文学K	1・2	2		○							1				
		日本古典文学L	1・2	2		○					1						
		日本語教育Ⅰ-A	1・2	2		○							1				
		日本語教育Ⅰ-B	1・2	2		○							1				
		日本語教育Ⅱ-A	1・2	2		○							1				
		日本語教育Ⅱ-B	1・2	2		○							1				
		日本国憲法A	1・2	2		○											
		日本国憲法D	1・2	2		○											
		日本政治史	1・2	2		○											
		日本文化論	1・2	2		○							1				
		日本文化論演習B	1・2	2		○							1				
		能楽の世界-歴史と文学-	1・2	2		○					2	1					
		文学A	1・2	2		○					1						
		文学B	1・2	2		○					1						
		文学D	1・2	2		○							1				
		法社会学	1・2	2		○					1						
		民事法基礎Ⅰ	1・2	2		○							1				
		民事法基礎Ⅱ	1・2	2		○							1				
		民事法基礎Ⅲ	1・2	2		○					1						
		民事法基礎Ⅳ	1・2	2		○					1						
		臨床心理学入門	1・2	2		○					1						
		歴史学B	1・2	2		○					1						
		歴史学F	1・2	2		○							1				
		歴史学P	1・2	2		○							1				
		歴史学S	1・2	2		○					1						
		歴史学U	1・2	2		○							1				
	歴史学Z	1・2	2		○							1					
	小計（100科目）	—	0	200	0		—			42	25	1	1	0			

教 育 課 程 等 の 概 要

(教育人間科学部学校教育課程)

科目 区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
(教養教育に関する授業科目) 別紙2参照														
(専門科目に関する授業科目)														
課 程 共 通 科 目	情報教育論	1・2・3・4	2			○			3	7				集 中 集 中 集 中
	環境教育概論	1・2・3・4	2			○								
	教育実践体験研究Ⅰ	1・2・3・4	2					○	2	1				
	教育実践体験研究Ⅱ	1	2					○	1	1				
	教育実践体験研究Ⅲ	3・4	2					○	2	1				
	教育実践研究Ⅰ	3・4	2					○		1				
	教育実践研究Ⅱ	3・4	2					○		1				
	教育実践研究演習Ⅰ	3・4	2					○		1				
	教育実践研究演習Ⅱ	3・4	2					○		1				
	教育臨床研究演習	3・4	2					○	1					
	学校カウンセリング	2・3・4	2			○			1					
	新聞活用教育(NIE)演習	3・4	2				○		2	1				
小計(12科目)	—	0	24	0		—		6	8	0	0	0		
教 職 専 門 科 目	教職入門	1	2			○			1	3				集 中
	教育本質・目標論	2・3・4	2			○			2	1				
	教育心理学	1	2			○			2	1				
	発達心理学	2	2			○			2	1				
	教育の社会的・制度的・経営的研究	2・3・4	2			○			1	3				
	教育方法・技術A	2・3・4	2			○			2	1				
	道徳指導法	2・3・4	2			○			1	1				
	特別活動研究	2・3・4	2			○			2					
	教育課程研究	2・3・4	2			○			2					
	総合演習	2	2				○		13	11				
小計(10科目)	—	20	0	0		—		18	16	0	0	0		
専 修 必 修 科 目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	3	2			○			2					集 中
	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	3	2			○			1		1			
	国語科教育法(初等)	2・3・4	2			○			1	1				
	社会科教育法(初等)	2・3・4	2			○			1					
	算数科教育法	3・4	2			○				1				
	理科教育法(初等)	2・3・4	2			○			2					
	生活科教育法	2・3・4	2			○			2					
	音楽科教育法(初等)	2・3・4	2			○			1					
	美術科教育法(初等)	2・3・4	2			○			1	1				
	体育科教育法	3・4	2			○			3	2				
	家庭科教育法(初等)	2・3・4	2			○				1				
	初等教育実習Ⅰ	2・3・4	6					○						
	初等教育実習Ⅱ	2・3・4	5					○						
	国語科教育法(中等)Ⅰ	2・3・4	2			○			1					
	国語科教育法(中等)Ⅱ	2・3・4	2			○				1				
	国語科教育法(中等)Ⅲ	3・4	2			○				1				
	国語科教育法(中等)Ⅳ	3・4	2			○			1					
	社会科教育法(中等)Ⅰ	2・3	2			○			1					
	社会科教育法(中等)Ⅱ	2・3	2			○			3	1				
	社会科教育法(中等)Ⅲ	2・3	2			○			1					
	社会科教育法(中等)Ⅳ	3・4	2			○			1					
	数学科教育法Ⅰ	1・2・3・4	2			○				1				
	数学科教育法Ⅱ	2・3・4	2			○			1					
	数学科教育法Ⅲ	3・4	2			○								
	数学科教育法Ⅳ	3・4	2			○				1				
	理科教育法(中等)Ⅰ	2・3・4	2			○			2					
	理科教育法(中等)Ⅱ	2・3・4	2			○			2					
	理科教育法(中等)Ⅲ	2・3・4	2			○			1					
	理科教育法(中等)Ⅳ	2・3・4	2			○			4	1				
	音楽科教育法(中等)Ⅰ	2	2			○			1					
	音楽科教育法(中等)Ⅱ	2	2			○				1				
	音楽科教育法(中等)Ⅲ	3・4	2			○			1					
	音楽科教育法(中等)Ⅳ	3・4	2			○				1				
美術科教育法(中等)Ⅰ	2	2			○			1						
美術科教育法(中等)Ⅱ	2	2			○				1					
美術科教育法(中等)Ⅲ	3・4	2			○			1						

(教育人間科学部学校教育課程)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
教職 専門 科目	美術科教育法(中等)Ⅳ	3・4	2			○				1						
	保健体育科教育法Ⅰ	2・3・4	2			○				1						
	保健体育科教育法Ⅱ	3・4	2			○				1						
	保健体育科教育法Ⅲ	3・4	2			○				1						
	保健体育科教育法Ⅳ	4	2			○				1	1					
	技術教育研究Ⅰ	1	2			○					1					
	技術教育研究Ⅱ	1	2			○					1					
	技術教育研究Ⅲ	3	2			○				1						
	技術教育研究Ⅳ	3	2			○				1						
	家庭科教育法(中等)Ⅰ	2	2			○					1					
	家庭科教育法(中等)Ⅱ	2	2			○					1					
	家庭科教育法(中等)Ⅲ	3	2			○					1					
	家庭科教育法(中等)Ⅳ	3	2			○					1					
	英語科教育法Ⅰ	2・3・4	2			○				2						
	英語科教育法Ⅱ	2・3・4	2			○				2						
	英語科教育法Ⅲ	3・4	2			○				2						
	英語科教育法Ⅳ	3・4	2			○				2						
	中等教育実習Ⅰ	2・3・4	4													
	中等教育実習Ⅱ	2・3・4	3													
	中等教育実習Ⅲ	2・3・4	2													
	保育内容の研究(健康)	2・3	2				○				1					
	保育内容の研究(人間関係)	3	2				○									
	保育内容の研究(環境)	3・4	2				○				1					
	保育内容の研究(言葉)	2・3	2				○				1					
	保育内容の研究(表現Ⅰ)	3・4	2				○				2					
	幼稚園教育指導法	2・3	2				○				1					
幼児理解の心理学・教育相談	2・3	2				○									集中、隔年開講	
	小計(63科目)	—	136	0	0	—				22	13	1	0	0		
教科 専門 科目	小学校国語(書写を含む)	2・3・4	2			○				1	1					
	小学校社会	2・3・4	2			○				2						
	小学校算数	2・3・4	2			○					1					
	小学校理科	2・3・4	2			○				2						
	小学校音楽	2・3・4	2			○					1					
	図画工作	2・3・4	2			○				2	3					
	小学校体育	2・3	2			○				3	4					
	小学校家庭 生活	2・3・4	2			○				2	4					
		小計(9科目)	—	16	2	0	—				13	14	0	0	0	
専修 専門 科目	教育学	2・3・4	2			○				1						
	教育方法学	2・3・4	2			○				1						
	教育哲学	2・3・4	2			○				1						
	教育史	2・3・4	2			○					1					
	教育社会学	2・3・4	2			○				1						
	比較教育学	2・3・4	2			○					1					
	教育行政学	2・3・4	2			○					1					隔年開講
	教育制度	2・3・4	2			○				1						
	教育学演習A	3・4	2					○		1						隔年開講
	教育学演習B	3・4	2					○		1						隔年開講
	教育学演習C	3・4	2					○		1						隔年開講
	教育学演習D	3・4	2					○		1						隔年開講
	教育方法学演習A	3・4	2					○		1						隔年開講
	教育方法学演習B	3・4	2					○		1						隔年開講
	教育方法学演習C	3・4	2					○		1						隔年開講
	教育方法学演習D	3・4	2					○		1						隔年開講
	教育哲学演習A	3・4	2					○		1						
	教育哲学演習B	3・4	2					○		1						
	教育哲学演習C	3・4	2					○		1						
	教育哲学演習D	3・4	2					○		1						
	教育史演習A	3・4	2					○			1					
教育史演習B	3・4	2					○			1						
教育史演習C	3・4	2					○			1					隔年開講	

(教育人間科学部学校教育課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専修専門科目	教育史演習D	3・4		2				○								隔年開講
	教育社会学演習A	3・4		2				○								隔年開講
	教育社会学演習B	3・4		2				○								隔年開講
	教育社会学演習C	3・4		2				○								隔年開講
	教育社会学演習D	3・4		2				○								隔年開講
	比較教育学演習A	3・4		2				○		1						隔年開講
	比較教育学演習B	3・4		2				○		1						隔年開講
	比較教育学演習C	3・4		2				○		1						隔年開講
	比較教育学演習D	3・4		2				○		1						隔年開講
	教育行政学演習A	3・4		2				○		1						隔年開講
	教育行政学演習B	3・4		2				○		1						隔年開講
	教育制度演習	3・4		2				○		1						隔年開講
		小計 (35科目)	—	0	70	0			—	5	3	0	0	0		
教育心理学専修専門科目	教育心理学実験演習I	2	2					○								
	教育心理学実験演習II	2	2					○								
	教育統計学	2	2				○									
	教育心理学総合演習I	3		2				○								
	教育心理学総合演習II	4		2				○								
	教育心理学総合演習III	4		2				○								
	教育心理学A	3・4		2			○									
	教育心理学B	3・4		2			○									
	教育臨床心理学	3・4		2			○			1						
	発達心理学A	3・4		2			○				1					
	発達臨床心理学	3・4		2			○					1				
	教育心理データ解析論	2		2			○									
	教科心理学	3・4		2			○									
	認知心理学	2・3・4		2			○									
	教育評価	2・3・4		2			○									
	小計 (15科目)	—	6	24	0			—	4	1	1	0	0			
障害児教育専修専門科目	発達障害心理学	3・4		2			○									隔年開講
	障害児心理学演習	3・4		2				○								
	障害児病理学演習	3・4		2				○								
	障害児指導学演習II	3・4		2				○								
	障害児指導学演習III	3・4		2				○								
	障害児指導法演習	3・4		2				○								
	視覚障害教育論	2・3・4		2			○									
	聴覚障害教育論	2・3・4		2			○									
	聴覚障害言語指導	2・3・4		2			○			1						
	障害児教育学演習	3・4		2					○							
	障害児指導学演習I	3・4		2					○							集中
	軽度発達障害心理・教育論	2・3・4		2			○									
	特別支援教育の本質と目標	2・3・4	2				○									
	知的障害心理学	2・3・4	2				○									隔年開講
	障害児精神医学	2・3・4	2				○									隔年開講
	肢体不自由教育総論	2・3・4	2				○									
	病弱児の心理・生理・病理	2・3・4	2				○									
	発達障害指導論	2・3・4	2				○									隔年開講
	肢体不自由指導論	2・3・4	2				○									
	障害児指導学演習IV	3・4	2						○							
	言語障害心理学	3・4	2				○			1						隔年開講
	障害児教育総論	2・3・4	2				○									
	重複障害の心理・指導論	2・3・4	2				○									
	障害児教育実習	3・4	3						○							
	小計 (24科目)	—	25	24	0			—	1	3	0	0	0			
幼児教育専修専門科目	幼児教育概論	2	2					○								
	幼児心理学概論	2	2					○								
	保育内容の研究 (表現II)	3・4		2				○								
	保育内容の研究演習A	3・4		2												
	保育内容の研究演習B	4		2												
	保育内容の研究演習C	4		2												
	幼児教育演習A	3・4		2												
	幼児教育演習B	4		2												
	幼児教育演習C	4		2												
	幼児心理学演習A	3・4		2												
	幼児心理学演習B	4		2												
	幼児心理学演習C	4		2												
	幼稚園教育実践研究A	3・4		2												隔年開講
	幼稚園教育実践研究B	3・4		2												隔年開講
	幼稚園教育実践研究C	3・4		2												隔年開講
	幼児教育史	2・3・4		2				○								隔年開講
	幼児教育の社会的・制度的・経営的研究	2・3・4		2				○								隔年開講
	幼児発達心理学	2・3・4		2				○								隔年開講
	幼稚園教育課程論	2・3・4		2				○								
	小計 (19科目)	—	4	34	0			—	2	2	0	0	0			

(教育人間科学部学校教育課程)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専修 専門 科目	外国史特講Ⅰ	3・4		2		○			1	1					隔年開講
	外国史特講Ⅱ	3・4		2		○			1	1					隔年開講
	外国史特講Ⅲ	3・4		2		○			1	1					隔年開講
	外国史特講Ⅳ	3・4		2		○			1	1					隔年開講
	外国史演習Ⅰ	3・4		2			○		1	1					隔年開講
	外国史演習Ⅱ	3・4		2			○	○	1	1					隔年開講
	外国史演習Ⅲ	3・4		2			○	○	1	1					隔年開講
	外国史演習Ⅳ	3・4		2			○	○	1	1					隔年開講
	歴史学研究法Ⅰ	2		2			○	○	1	1					隔年開講
	歴史学研究法Ⅱ	2		2			○	○	1	1					隔年開講
	地理学特講Ⅰ	2・3・4		2		○									
	地理学特講Ⅱ	2・3・4		2		○									
	地理学特講Ⅲ	2・3・4		2		○									
	地理学特講Ⅳ	2・3・4		2		○			1						
	地理学研究法	2		2				○	1						
	地理学演習Ⅰ	3		2				○	1						
	地理学演習Ⅱ	3		2				○	1						
	地理学演習Ⅲ	4		2				○	1						
	地理学演習Ⅳ	4		2				○	1						
	地理学実習Ⅰ	2・3		2					1						
	地理学実習Ⅱ	2・3		2					1						
	地理学実習Ⅲ	2・3・4		2					1						集中
	地理学実習Ⅳ	2・3・4		2					1						集中
	法律学特講Ⅰ	2・3・4		2		○				1					隔年開講
	法律学特講Ⅱ	2・3・4		2		○				1					隔年開講
	政治学特講Ⅰ	2・3・4		2		○				1					
	政治学特講Ⅱ	2・3・4		2		○				1					
	人文・社会科学研究法Ⅰ	2・3・4		2				○	2	2					
	人文・社会科学研究法Ⅱ	2・3・4		2				○	2	2					
	法律学・政治学演習Ⅰ	3・4		2				○		1					
	法律学・政治学演習Ⅱ	3・4		2				○		1					
	法律学・政治学演習Ⅲ	2・3・4		2				○		1					
	法律学・政治学演習Ⅳ	2・3・4		2				○		1					
	経済学特講Ⅰ	3・4		2		○				1					
	経済学特講Ⅱ	3・4		2		○				1					
	社会学特講Ⅰ	3・4		2		○			1						隔年開講
	社会学特講Ⅱ	3・4		2		○			1						隔年開講
	経済学・社会学演習Ⅰ	3・4		2				○		1					
	経済学・社会学演習Ⅱ	3・4		2				○		1					
	経済学・社会学演習Ⅲ	3・4		2				○		1					
	経済学・社会学演習Ⅳ	3・4		2				○		1					
	哲学・倫理学特講Ⅰ	2・3・4		2		○			1						
	哲学・倫理学特講Ⅱ	2・3・4		2		○			1						
	哲学・倫理学演習Ⅰ	3		2				○	1						
	哲学・倫理学演習Ⅱ	3		2				○	1						
	哲学・倫理学演習Ⅲ	4		2				○	1						
哲学・倫理学演習Ⅳ	4		2				○	1							
社会科教材開発実習Ⅰ	2		2					2						集中	
社会科教材開発実習Ⅱ	3・4		2					2						集中	
人文・社会科学方法論特講	3・4		2		○			1						隔年開講	
人文・社会科学方法論演習Ⅰ	3・4		2				○	1						隔年開講	
人文・社会科学方法論演習Ⅱ	3・4		2				○	1						隔年開講	
社会認識形成史特講	3・4		2		○			1						隔年開講	
社会認識形成史演習Ⅰ	3・4		2				○	1						隔年開講	
社会認識形成史演習Ⅱ	3・4		2				○	1						隔年開講	
社会認識教育方法論演習	3・4		2				○	1						隔年開講	
授業研究法(生活・社会)	3・4		2				○	1						隔年開講	
小計(76科目)		—	8	144	0		—	7	6	0	0	0			
数学 教育 専修 専門 科目	代数系の基礎Ⅰ	2・3・4	2			○			1						
	線形代数Ⅰ	2・3・4	2			○				1					
	微積分学Ⅰ	2・3・4	2			○			1						
	統計学Ⅰ	2・3・4	2			○									
	情報数学Ⅰ	2・3・4	2			○									
	代数学序説	1・2・3・4		2					1						
	代数系の基礎Ⅱ	2・3・4		2					1						
	代数学講義Ⅰ	3・4		2					1					隔年開講	
	代数学講義Ⅱ	3・4		2					1					隔年開講	
	応用代数学Ⅰ	3・4		2										隔年開講	
	応用代数学Ⅱ	3・4		2					1					隔年開講	
	代数学特講	3・4		2											
	幾何学序説	1・2・3・4		2											
	線形代数Ⅱ	2・3・4		2						1					
幾何学講義Ⅰ	3・4		2						1				隔年開講		
幾何学講義Ⅱ	3・4		2						1				隔年開講		

(教育人間科学部学校教育課程)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専修 専門 科目	応用幾何学Ⅰ	3・4		2		○									隔年開講
	応用幾何学Ⅱ	3・4		2		○									隔年開講
	幾何学特講	2・3・4		2		○									
	微分積分学Ⅱ	2・3・4		2		○			1	1					
	解析学講義Ⅰ	3・4		2		○									隔年開講
	解析学講義Ⅱ	3・4		2		○									隔年開講
	応用解析学Ⅰ	3・4		2		○			1						隔年開講
	応用解析学Ⅱ	3・4		2		○			1						隔年開講
	解析学特講	3・4		2		○			1						
	統計学Ⅱ	2・3・4		2		○				1					
	情報数学Ⅱ	2・3・4		2		○									
小計 (27科目)	—		10	44	0	—			2	1	0	0	0		
理 科 教 育 専 修 専 門 科 目	基礎物理学実験	2	2					○	1	2					
	基礎化学実験	2	2					○	1						
	基礎生物学実験	2	2					○	1						
	地学基礎実習	2	2					○		1					
	基礎物理学ⅠA	1		2			○		1						
	基礎物理学ⅠB	2・3・4		2			○		1						
	基礎化学ⅠA	2		2			○								
	基礎化学ⅠB	2		2			○		1						
	基礎化学ⅡA	3		2			○								
	基礎化学ⅡB	3		2			○								
	無機化学	3		2			○								
	機器分析化学	3		2			○		1						
	基礎生物学A	2		2			○								
	基礎生物学B	2		2			○								
	基礎生物学C	2		2			○		1						
	生物学特論A	3・4		2			○								隔年開講
	生物学特論B	3・4		2			○								集中, 隔年開講
	動物学	3・4		2			○								
	地域環境生物学	3・4		2			○		1						
	植物学	3・4		2			○								
	生活環境生物学実習	1		2					○	1					
	地球科学概論	2・3・4		2			○				1				
	生活地圏環境形成論	2・3・4		2			○								
	天文学・気象学A	2・3・4		2			○				1				
	天文学・気象学B	2・3・4		2			○				1				
	生活地圏環境セミナーA	3・4		2					○		1				
	地殻科学	3・4		2			○				1				
	生活圏地形地質環境論	3		2			○								
	自然科学基礎演習Ⅰ	2・3・4		2					○	1					
	自然科学基礎演習Ⅱ	2・3・4		2					○	1					
	情報理科特論	2・3・4		2			○			1					
	情報理科特講	2・3・4		2			○			1					
	物理学実験	3・4		2					○		1				
	物理学セミナー	3		2					○	1	2				
	基礎物理学ⅡA	2・3・4		2			○				1				
	基礎物理学ⅡB	3・4		2			○				1				
	現代物理学ⅠA	3・4		2			○				1				
	現代物理学ⅠB	3・4		2			○				1				
	現代物理学ⅡA	3・4		2			○			1					
	現代物理学ⅡB	3・4		2			○				1				
	現代物理学Ⅲ	3・4		2			○			1					
	有機化学実験	3		2					○						
	物理化学実験	3		2					○	1					
化学演習AⅠ	4		2					○							
化学演習AⅡ	4		2					○							
化学演習BⅠ	4		2					○	1						
化学演習BⅡ	4		2					○	1						
生物学演習A	4		2					○	1						
生物学演習B	4		2					○	1						
生物学実験Ⅰ	3		2					○	1						
生物学実験Ⅱ	3		2					○	1						
植物野外実習	3		2					○							
地域環境生物学実習	3		2					○	1						
昆虫学実習	3		2					○							
地学演習A	4		2					○							
地学演習B	4		2					○		1					
生活地圏環境セミナーB	4		2					○							
火山・地球環境セミナー	4		2					○		1					
地殻科学実習	3		2					○		1					
地域地質実習	3		2					○		1					
小計 (60科目)	—		8	112	0	—			4	3	0	0	0		

(教育人間科学部学校教育課程)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専修 専門 科目	音楽表現Ⅰ	1	2					○	1	3					
	音楽表現Ⅱ	2・3・4	2					○		1					
	音楽実践Ⅰ	1・2	2					○	1						
	音楽実践Ⅱ	1・2	2					○		2					
	音楽実践Ⅲ	2・3	1					○							
	音楽実践Ⅳ	2・3	1					○							
	音楽理論	1	2				○		1						
	音楽史	2	2				○		1						
	多文化音楽論Ⅰ	3	2				○								
	合唱	2・3・4	2					○	1						
	合奏	2・3・4	2					○		1					
	音楽教育学演習Ⅰ	3		1				○		1					
	音楽教育学演習Ⅱ	3		1				○		1					
	コレギウムⅠ	1・2・3・4	1						○	1					集中
	コレギウムⅡ	2・3・4	1						○		1				集中
	コレギウムⅢ	2・3・4	1						○		1				集中
	コレギウムⅣ	2・3・4	1						○		1				集中
	コレギウムⅤ	2・3・4	1						○	1					集中
	コレギウムⅥ	1・2・3・4	1						○		1				集中
	コレギウムⅦ	2・3・4	1						○	1					集中
	コレギウムⅧ	2・3・4	1						○	1					集中
	弦楽器メソッドⅠ	2・3	1						○		1				
	弦楽器メソッドⅡ	2・3	1						○		1				
	音楽実践Ⅴ	2・3・4	1						○		1				集中
	音楽実践Ⅵ	2・3・4	1						○		1				集中
	音楽実践Ⅶ	2・3・4	1						○		1				集中
	音楽実践Ⅷ	2・3・4	1						○		1				集中
	声楽アンサンブル	2・3・4	2						○	1					隔年開講
	伴奏法	3・4	2						○		1				隔年開講
	コンピュータ音楽Ⅰ	2・3・4	2						○	1					
	コンピュータ音楽Ⅱ	2・3・4	2						○	1					
	音楽マネジメントⅠ	2・3・4	2					○		1					
	音楽マネジメントⅡ	2・3・4	2					○		1					
	音楽心理学Ⅰ	2・3・4	2					○			1				隔年開講
	音楽心理学Ⅱ	2・3・4	2					○			1				隔年開講
	西洋音楽史Ⅰ	2・3・4	2					○		1					
	西洋音楽史Ⅱ	2・3・4	2					○		1					
	音楽文化論	2・3・4	2					○		1					
	音楽学Ⅰ	2・3・4	2					○		1					
	音楽学Ⅱ	2・3・4	2					○		1					
	声楽メソッドⅠ	3・4	1						○	1					
	声楽メソッドⅡ	3・4	1						○	1					
	ピアノメソッドⅠ	3・4	1						○		2				
	ピアノメソッドⅡ	3・4	1						○		2				
	ピアノ・アンサンブル	3・4	1						○		1				
	楽曲分析法Ⅰ	2	2						○	1					
	楽曲分析法Ⅱ	2	2						○	1					
	作曲・理論入門Ⅰ	1・2・3・4	2						○	1					
	作曲・理論入門Ⅱ	1・2・3・4	2						○	1					
	音楽環境学演習Ⅰ	3	1						○	1					
	音楽環境学演習Ⅱ	3	1						○	1					
	音楽課題研究	3・4	2						○	4	4				集中
	弦楽アンサンブルⅠ	1・2・3・4	2						○		1				
	弦楽アンサンブルⅡ	1・2・3・4	2						○		1				
	弦楽器実践	1	2						○		1				
小計(55科目)	—	20	65	0	—	—	—	—	4	4	0	0	0		
美術 教育 専修 専門 科目	絵画基礎Ⅰ	1	2					○		1					集中
	絵画基礎Ⅱ	1	2					○	1						集中
	彫刻基礎Ⅰ	1	2					○	1						集中
	彫刻基礎Ⅱ	2・3・4	2					○		1					
	工芸基礎	2・3	2					○		1					
	デザイン基礎	2・3	2					○		1					集中
	芸術学	2・3	2					○	2						隔年開講
	日本・東洋美術史	2・3	2				○		1						
	西洋美術史	2・3	2				○		1						
	美術教育原論	3	2				○		1						
	地域芸術研究	3	2					○	1						集中
	絵画制作	2		2				○		1					
	日本画制作	2		2				○		1					
	彫刻制作	2・3・4	2					○		1					
	工芸制作	2・3・4	2					○							集中, 隔年開講
	デザイン制作	3	2					○			1				
	美術教育課題研究Ⅰ	3	2					○	1	1					
	美術教育課題研究Ⅱ	4	2					○	1	1					
	造形芸術学課題研究Ⅰ	3	2					○	1						
	造形芸術学課題研究Ⅱ	3	2					○	1						

(教育人間科学部学校教育課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専修専門科目	機械II	2		2			○			1						
	機械III	3		2			○			1						
	電気I	1・2		2			○				1					
	電気II	2		2			○				1					
	電気III	2・3		2			○				1					
	電気IV	2・3		2			○				1					
	栽培III	3・4		2			○				1					
	栽培IV	3・4		2			○				1					
	情報基礎I	2・3・4		2			○				1					
	栽培及び実習II	3・4		2					○		1					
	金属加工IV	3・4		2			○			1						隔年開講
	金属加工V	3・4		2			○			1						
	金属加工VI	3・4		2			○			1						
	金属加工実習II	3・4		1					○		1					隔年開講
	機械IV	3・4		2			○			1						隔年開講
	機械V	3・4		2			○			1						隔年開講
	機械VI	3・4		2			○			1						
	機械実習II	3		1					○		1					
	電気V	3・4		2			○				1					
	電気VI	3・4		2			○				1					
電気実習II	3		1					○		1						
技術科特別演習A	4		1				○		2	2						
技術科特別演習B	4		1				○		2	2						
	小計(36科目)	—	11	53	0		—		2	2	0	0	0			
家庭科教育専修専門科目	家庭経営学I	2	2				○			1						
	家庭経営学II	3	2				○			1						
	被服学I	1	2				○			1						
	被服学II	2	2				○			1						
	被服学実験実習I	1	2						○		2					
	食物学I	2	2				○									
	食物学II	2	2				○			1						
	食物学実験実習I	1	2						○		1					
	住居学I	1	2				○			1						
	住居学実験実習	3	2						○		1					
	保育学	2・3	2				○									隔年開講
	生活科学論	1		2			○			2	2					
	生活科学教育研究	3	2				○				1					
	生活科学教育演習	3	2				○				1					
	生活科学教育課題の分析	3	2					○	○		1					
	家庭経営学III	3	2				○				1					
	家庭経営学実習	2・3	2						○		1					
	家庭経営学演習	3	2						○		1					
	家庭経営学課題の分析	3	2					○	○		1					
	被服学III	3	2				○				1					
	被服学IV	3	2				○				1					
	被服学実験実習II	2	2						○		1					
	被服学実験実習III	2	2						○		1					
	被服学演習	3	2					○	○		2					
	被服学課題の分析	3	2					○	○		1					
	食物学III	2	2				○			1						
	食物学IV	2	2				○									
	食物学実験実習II	2	2						○		1					
	食物学実験実習III	3	2						○		1					
	調理実習I	2・3	2						○		1					
	調理実習II	3・4	2						○		1					隔年開講
	食物学演習	3	2					○	○		1					隔年開講
	食物学課題の分析	3	2					○	○		1					
住居学II	2	2				○				1						
住居学III	3	2				○				1						
住居学演習	3	2					○	○		1						
住居学課題の分析	3	2					○	○		1						
家庭看護学	3・4	2				○										
家庭電気・機械	2	2				○				1						
情報処理演習	2・3	2					○			1	4					
	小計(40科目)	—	22	58	0		—		2	4	0	0	0			
英語教育専修専門科目	英語教育と英文法I	2	2				○				1					
	英語教育と言語学I	2	2				○				1					
	英語教育と英文学I	2	2				○									
	英語教育と米文学I	2	2				○				1					
	英語教育リスニング演習I	2	1					○			1					
	英語教育スピーキング演習I	1	1					○								
	英語教育ライティング演習I	2	1					○			1					
	英語教育と異文化理解	3	2				○									
	英語教育と英文法II	2	2				○				1					
	英語教育と英文法研究法I	3・4	2				○				1					
英語教育と英文法研究法II	3・4	2				○				1						

(教育人間科学部学校教育課程)

科目 区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専修 専門 科目	英語教育と言語学Ⅱ	2		2		○				1					
	英語教育と言語学研究法Ⅰ	3・4		2		○				1					
	英語教育と言語学研究法Ⅱ	3・4		2		○				1					
	英語教育と音声学Ⅰ	1・2		2		○				1					
	英語教育と音声学Ⅱ	1・2		2		○				1					
	英語教育と音声学研究法Ⅰ	3・4		2		○				1					
	英語教育と音声学研究法Ⅱ	3・4		2		○				1					
	英語教育とコミュニケーション	3・4		2		○				1					
	英語教育とコミュニケーション研究法	3・4		2		○				1					
	英語教育と英文学Ⅱ	2		2		○									
	英文学教材研究Ⅰ	3・4		2		○									
	英文学教材研究Ⅱ	3・4		2		○									
	英語教育と米文学Ⅱ	2		2		○				1					
	米文学教材研究Ⅰ	3・4		2		○				1					
	米文学教材研究Ⅱ	3・4		2		○				1					
	英語教育リスニング演習Ⅱ	2		1			○			1					
	英語教育リスニング演習Ⅲ	3・4		1			○		1						
	英語教育リスニング演習Ⅳ	3・4		1			○		1						
	英語教育スピーキング演習Ⅱ	1		1			○								
	英語教育スピーキング演習Ⅲ	2		1			○								
	英語教育スピーキング演習Ⅳ	2		1			○								
	英語教育リーディング演習Ⅰ	3・4		1			○			1					
	英語教育リーディング演習Ⅱ	3・4		1			○			1					
	英語教育リーディング演習Ⅲ	3・4		1			○			1					
	英語教育リーディング演習Ⅳ	3・4		1			○			1					
	英語教育ライティング演習Ⅱ	2		1			○			1					
	英語教育ライティング演習Ⅲ	3		1			○		1						
	英語教育ライティング演習Ⅳ	3		1			○		1						
	英語総合演習Ⅰ	3・4		2			○		1						集中
	英語総合演習Ⅱ	3・4		2			○		1						集中
英語教育と異文化理解研究法	3		2			○									
初等英語科教育法	3・4		2			○								集中	
英語科教育総合実践	4		2			○		1						集中	
小計 (44科目)	—		13	59	0				2	5	0	0	0		
卒業研究	卒業研究	4	6				○		38	38	1	0	0		
小計 (1科目)	—		6	0	0		—		38	38	1	0	0		
合計 (662科目)		—	347	910	0		—		38	38	1	0	0		
学位又は称号	学士 (教育学)		学位又は学科の分野			教育学・保育学関係									

教 育 課 程 等 の 概 要

(教育人間科学部学習社会ネットワーク課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
(教養教育に関する授業科目) 別紙2参照														
(専門科目に関する授業科目)														
課程 科目 共通 必修	学習社会入門	1	2			○				2				
	生涯学習概論Ⅰ	1	2			○								
	生涯学習概論Ⅱ	2	2			○								
	学習社会基礎演習Ⅰ	2	2				○			2				
	学習社会基礎演習Ⅱ	2	2				○			1				
小計 (5科目)		—	10	0	0	—				1	2	0	0	0
コース 選択 科目	学習情報ネットワーク論	2・3・4		2		○								
	教育メディア論Ⅰ	2・3・4		2		○								
	教育メディア論Ⅱ	2・3・4		2		○								
	学習情報処理論Ⅰ	2・3・4		2		○								
	学習情報処理論Ⅱ	2・3・4		2		○								
	学習統計実験演習	2		2				○						
	地域環境ネットワーク論	3・4		2		○								
	学習環境形成論	2・3・4		2		○								隔年開講
	学習環境測定論	2・3・4		2		○								隔年開講・集中
	図書館学概論Ⅰ	2・3・4		2		○								隔年開講・集中
	図書館学概論Ⅱ	2・3・4		2		○								
	歴史学習環境論Ⅰ	2・3・4		2		○				1				
	歴史学習環境論Ⅱ	2・3・4		2		○				1				
	日本史	2・3・4		2		○				1				隔年開講
	歴史情報分析Ⅰ	2・3・4		2		○				1				隔年開講
	歴史情報分析Ⅱ	2・3・4		2		○				1				隔年開講
	歴史学習施設研究	2・3		2		○				1				隔年開講
	文化学習支援論Ⅰ	2・3・4		2		○								隔年開講
	文化学習支援論Ⅱ	2・3・4		2		○								隔年開講
	文学とコミュニティⅠ	2・3・4		2		○								隔年開講
	文学とコミュニティⅡ	2・3・4		2		○								隔年開講
	伝統文化保存論Ⅰ	2・3・4		2		○								隔年開講
	伝統文化保存論Ⅱ	2・3・4		2		○								隔年開講
	文化学習施設研究	3・4		2		○								集中
	学習情報研究Ⅰ	3		2			○			1				
	学習情報研究Ⅱ	3		2			○			1				
	学習情報研究Ⅲ	4		2			○			1				
	学習情報研究Ⅳ	4		2			○			1				
	教育方法・技術A	2・3・4		2		○								
小計 (29科目)		—	0	58	0	—				1	0	0	0	
共生 学習 ネット ワーク コース	障害者支援論	2・3・4		2		○								隔年開講
	障害者心理教育論	2・3・4		2		○								隔年開講
	障害者職業指導論	3・4		2		○								隔年開講
	対人コミュニケーション論	2・3・4		2		○								
	ライフコース学習論	2・3・4		2		○				1				
	福祉ネットワーク論	2・3・4		2		○				1				隔年開講
	社会福祉調査演習	3		2			○			1				集中
	ライフコース法学Ⅰ	2・3・4		2		○								隔年開講
	ライフコース法学Ⅱ	2・3・4		2		○								隔年開講
	多文化教育コミュニケーション	2・3・4		2		○								隔年開講
	教育文化環境論	2・3・4		2		○								隔年開講
	家庭教育支援論	2・3・4		2		○								
	現代社会関係論Ⅰ	2・3・4		2		○				1				隔年開講
	現代社会関係論Ⅱ	2・3・4		2		○				1				隔年開講
	社会意識調査演習	3		2			○			1				集中
	グローバル教育論	2・3・4		2		○								
	国際開発援助論	2・3・4		2		○								
	社会学	2・3・4		2		○				1	1			
	多文化学習論Ⅰ	2・3・4		2		○								
	多文化学習論Ⅱ	2・3・4		2		○								
	共生学習研究Ⅰ	3		2			○			1	1			
	共生学習研究Ⅱ	3		2			○			1	1			
	共生学習研究Ⅲ	4		2			○			1	1			
	共生学習研究Ⅳ	4		2			○			1	1			
小計 (24科目)		—	0	48	0	—				1	1	0	0	0

(教育人間科学部学習社会ネットワーク課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース選択科目	地域教育実践研究	1・2・3・4		2		○			1						集中
	生涯学習社会論	2・3・4		2		○									隔年開講
	社会教育計画論	2・3・4		2		○									
	生涯学習概論Ⅲ	1・2・3・4		2		○									
	生涯発達心理学Ⅰ	3・4		2		○			1						
	生涯発達心理学Ⅱ	2・3・4		2		○									
	生涯発達心理学実験演習	2		2			○		1						
	生涯教育計画論	2・3・4		2		○									
	生涯学習行政論	2・3・4		2		○									
	生涯教育行政論演習	3		2			○								
	社会体育学Ⅰ	3		2		○									
	社会体育学Ⅱ	3・4		2		○									
	現代市民社会論Ⅰ	2・3・4		2		○									隔年開講
	現代市民社会論Ⅱ	2・3・4		2		○									
	市民社会思想Ⅰ	3・4		2		○									
	市民社会思想Ⅱ	3・4		2		○									
	学習社会の教育思想論	2・3・4		2		○									隔年開講
	現代都市生活形成論	2・3・4		2		○									
	政治学	2・3・4		2		○									集中
	社会教育特講Ⅰ	2・3・4		2		○									
	社会教育特講Ⅱ	2・3・4		2		○									
	社会教育演習	3・4		2			○								
	教育の社会的・制度的・経営的研究	2・3・4		2		○									
	教育行政学	2・3・4		2		○									
	教育心理学	1		2		○			1						
	発達心理学	2		2		○			1						
	生涯学習研究Ⅰ	3		2			○		1						
	生涯学習研究Ⅱ	3		2			○		1						
	生涯学習研究Ⅲ	4		2			○		1						
	生涯学習研究Ⅳ	4		2			○		1						
小計(30科目)	—		0	60	0	—		1	0	0	0	0			
卒業研究	卒業研究	4	6				○		3	2	0	0	0		
	小計(1科目)	—	6	0	0	—		3	2	0	0	0			
合計(89科目)		—	16	166	0	—		3	2	0	0	0			
学位又は称号	学士(人間科学)		学位又は学科の分野			教育学・保育学関係, 社会学・社会福祉学関係									

教 育 課 程 等 の 概 要

(教育人間科学部生活環境科学課程)

科目 区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
(教養教育に関する授業科目) 別紙2参照														
(専門科目に関する授業科目)														
課程 共通 選択 必修 科目	生活科学総論	1		2		○			1	1				隔年開講
	くらしと地域環境	1		2		○			1	1				
	生活システム概論	1		2		○								
	環境空間の倫理	2・3・4		2		○								
	食生活環境論	2		2		○								
	まちづくりと法律	3		2		○								
	生活文化論	2・3・4		2		○								
	生活とリサイクル	2		2		○								
	環境教育概論	2・3・4		2		○								
	くらしと地理	2・3・4		2		○								
くらしと経済	2		2		○				1					
小計 (11科目)		—	0	22	0	—			2	2	0	0	0	
コ ー ス 選 択 必 修 科 目	生活デザイン論	2	2			○				1				
	被服環境学	1	2			○								
	食物の科学	2	2			○								
	住環境科学 I	1	2			○								
	生活科学セミナー I	3		2			○		1	1				
	生活科学セミナー II	3		2			○							
	生活科学セミナー III	3		2			○							
	生活科学セミナー IV	3		2			○			1				
	小計 (8科目)		—	8	8	0	—		1	2	0	0	0	
	生活環境地学実験	2		2				○	1					
生活環境生物学実習	2		2				○	1	1					
生活環境化学実習	2		2				○		1					
環境物質科学実習	2		2				○							
生活地圏環境セミナー A	3		2			○		1						
生活環境生物学セミナー A	4		2			○		1	1					
生活環境化学セミナー A	4		2			○			1					
環境物質科学セミナー A	3・4		2			○								
自然科学基礎演習 I	2・3・4		2			○								
自然科学基礎演習 II	2・3・4		2			○								
小計 (10科目)		—	0	20	0	—		2	2	0	0	0		
生活システムコース	数と規則性 I	2	2			○								
線形系の解法 I	2	2				○								
生活の中の数理 I	2	2				○								
生活とコンピュータ I	2	2				○			1					
意志決定の数理 I	2		2			○								
意志決定の数理 II	2		2			○								
小計 (6科目)		—	8	4	0	—		0	1	0	0	0		
課 程 共 通 選 択 科 目	生活科学課題の分析 I	3		2		○			1	1				隔年開講 隔年開講
	生活科学課題の分析 II	3		2		○								
	生活科学課題の分析 III	3		2		○								
	生活科学課題の分析 IV	3		2		○				1				
	食文化論	2		2		○								
	栄養科学概論	2		2		○			1					
	栄養科学各論	3		2		○			1					
	調理科学	2		2		○			1					
	調理科学実習 I	2・3		2				○						
	調理科学実習 II	3・4		2				○	1					
	食物科学実験実習 I	2		2				○	1	1				
	食物科学実験実習 II	2		2				○	1					
	食物科学実験実習 III	3		2				○	1					
	被服材料物性学	3		2		○								
	被服環境学特講	2・3・4		2		○								
	繊維製品性能論	2・3		2		○				1				
	被服科学実験実習 I	2		2			○			1				
	被服科学実験実習 II	2		2			○							
	住環境科学 II	2		2		○								
	地域住宅計画論	3		2		○								
インテリアデザイン	2		2		○									

(教育人間科学部生活環境科学課程)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
課程 共通 選択 科目	住環境科学実験実習Ⅰ	3		2				○							
	住環境科学実験実習Ⅱ	3		2				○							
	家族関係論	3		2		○				1					
	家庭経営学研究Ⅰ	2・3・4	2			○				1					
	家庭経営学研究Ⅱ	2・3・4	2			○				1					
	女性労働論	2・3	2			○				1					
	地域・生活福祉実習	3	2					○		1					集中
	家庭介護・看護学	3・4	2			○									
	保育環境論	3	2			○				1					
	生活工学	3	2			○									
	生活情報処理	2・3	2				○			2					
	基礎物理学ⅠA	1	2			○									
	基礎物理学ⅠB	2・3・4	2			○									
	基礎物理学ⅡA	2・3・4	2			○									
	基礎物理学ⅡB	3・4	2			○									
	現代物理学ⅠA	3・4	2			○									
	現代物理学ⅠB	3・4	2			○									
	現代物理学ⅡA	3・4	2			○									
	現代物理学ⅡB	3・4	2			○									
	現代物理学Ⅲ	3・4	2			○									
	環境情報実習	3	2						○						
	基礎物理学実験	2	2						○						
	環境物質科学セミナーB	4	2					○							
	基礎化学ⅠA	2	2			○				1					
	基礎化学ⅠB	2	2			○									
	基礎化学ⅡA	3	2			○									
	基礎化学ⅡB	3	2			○									
	機器分析化学	3	2			○									
	無機化学	3	2			○				1					
	有機化学実験	3	2						○						
	物理化学実験	3	2						○	1					
	生活環境化学セミナーB	4	2					○		1					
	地域環境生物学	3・4	2			○									
	基礎生物学A	2	2			○				1					
	基礎生物学B	2	2			○				1					
	基礎生物学C	2	2			○									
	植物学	3・4	2			○				1					
	動物学	3・4	2			○					1				
	生物学特論A	3・4	2			○									隔年開講
	生物学特論B	3・4	2			○									隔年開講
	地域環境生物学実習	3	2						○						集中
	基礎生物学実験	2	2						○	1	1				
生物学実験Ⅰ	3	2						○	1	1					
生物学実験Ⅱ	3	2						○	1	1					
昆虫学実習	3	2						○		1				集中	
植物野外実習	3	2						○	1					集中	
生活環境生物学セミナーB	4	2					○		1						
生活地圏環境形成論	2・3	2				○			1						
地球科学概論	2・3	2				○									
生活圏地形地質環境論	3	2				○			1						
地殻科学	3・4	2				○									
地域地質実習	3	2						○	1						
地殻科学実習	3	2						○	1						
生活地圏環境セミナーB	4	2					○		1						
火山・地球環境セミナー	4	2						○							
地学演習A	4	2						○	1						
地学演習B	4	2						○							
天文学・気象学A	2・3・4	2				○									
天文学・気象学B	2・3・4	2				○									
情報理科特論	2・3・4	2				○									
情報理科特講	2・3・4	2				○									
演算と関係Ⅰ	3	2				○								隔年開講	
演算と関係Ⅱ	3	2				○								隔年開講	

(教育人間科学部生活環境科学課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
課程共通選択科目	代数学特講	3		2		○			1						隔年開講 隔年開講 隔年開講 隔年開講 隔年開講 隔年開講 隔年開講 隔年開講 隔年開講 隔年開講 隔年開講
	現代解析幾何学Ⅰ	3		2		○				1					
	現代解析幾何学Ⅱ	3		2		○				1					
	対称性の構造Ⅰ	3		2		○									
	対称性の構造Ⅱ	3		2		○									
	幾何学特講	2		2		○									
	現象の解法Ⅰ	3		2		○				1					
	現象の解法Ⅱ	3		2		○				1					
	数理計画法Ⅰ	3		2		○									
	数理計画法Ⅱ	3		2		○									
	解析学特講	3		2		○									
	数と規則性Ⅱ	2		2		○									
	線形系の解法Ⅱ	2		2		○									
	生活の中の数理Ⅱ	2		2		○									
生活とコンピュータⅡ	2		2		○			1							
小計 (99科目)		—	0	198	0		—	5	6	0	0	0			
卒業研究	卒業研究	4	6				○		5	6	0	0	0		
	小計 (1科目)	—	6	0	0		—	5	6	0	0	0			
合計 (135科目)		—	22	252	0		—	5	6	0	0	0			
学位又は称号		学士 (生活環境科学)			学位又は学科の分野			教育学・保育学関係, 理学関係, 家政関係							

教 育 課 程 等 の 概 要

(教育人間科学部健康スポーツ科学課程)

科目 区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
(教養教育に関する授業科目) 別紙2参照															
(専門科目に関する授業科目)															
課程 共通 必修 科目	スポーツ医学	2	2			○									
	スポーツ指導論	3	2			○				1					
	スポーツ心理学	2	2			○									
	スポーツ行政論	2	2			○									
	栄養学	2	2			○									
	スポーツ生理学Ⅰ	2	2			○									
	スポーツ生理学Ⅱ	2	2			○									
	体力トレーニング論	2	2			○									
	スポーツバイオメカニクス	2	2			○				1					
	救急処置法	1	2			○				1					
	社会スポーツ概論	3	2			○									
	健康運動生活論	1	2			○				1					
	発育発達論	3	2			○									
	障害者運動論	2	2			○									
	身体運動文化論	1	2			○				1					
	体力トレーニング論演習	2	2					○		1					
ゴルフ	3・4	1						○	1						
スキー	2・3・4	1						○	2						
小計 (18科目)	—	34	0	0	—				2	4	0	0	0		
コース 必修 科目	ヘルスプロモーション・ウェルネス概論	2	2			○									
	健康心理学	3	2			○									
	保養論	3	2			○									
	ヘルスプロモーション実習	3	2					○	2	6					
	ヘルスプロモーション研究演習Ⅰ	3	4					○							
	ヘルスプロモーション研究演習Ⅱ	4	4					○							
	小計 (6科目)	—	16	0	0	—				2	6	0	0	0	
コース スポーツ 科学	体力診断論	3	2			○			1						
	運動処方論	3	2			○									
	機能解剖学	2・3	2			○									
	社会スポーツ指導実習	3	2					○	2	6					
	スポーツ科学研究演習Ⅰ	3	4					○	2	4					
	スポーツ科学研究演習Ⅱ	4	4					○	2	4					
小計 (6科目)	—	16	0	0	—				2	6	0	0	0		
課程 共通 選択 科目	講義科目														
	公衆衛生学	3		2		○				1					
	スポーツ教育論	3		2		○				1					
	スポーツマネジメント論	3		2		○									
	体育スポーツ史	2		2		○									
	体育スポーツ原理	2		2		○									
	スポーツ経営学	2		2		○									
	ライフスキル論	2		2		○									
	身体運動論	3		2		○			1						
	健康教育概論	3		2		○				1					
	健康スポーツ情報処理論	1		2		○				1					
	健康政策論	3		2		○									
野外活動論	2		2		○										
小計 (12科目)	—	0	24	0	—				1	4	0	0	0		
実践 科目	ウエルネスコミュニケーション演習	3		2				○							
	スポーツコミュニケーション演習	3		2				○	1						
	バレーボール	1・2・3・4		1						1					
	バドミントン	1・2・3・4		1						1					
	エアロビクス・エクササイズ	1・2・3・4		1											
	サッカー	1・2・3・4		1						1					
	野外活動	1・2・3・4		1											
	卓球	1・2・3・4		1						1					
	レクリエーション・スポーツ	1・2・3・4		1											
	水泳	1・2・3・4		1											
	体操	1・2・3・4		1											
	バスケットボール	1・2・3・4		1						1					
小計 (12科目)	—	0	14	0	—				1	4	0	0	0		

(教育人間科学部健康スポーツ科学課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
卒業研究	卒業研究	4	6					○		2	6	0	0	0	
	小計(1科目)	—	6	0	0			—		2	6	0	0	0	
	合計(55科目)	—	72	38	0			—		2	6	0	0	0	
学位又は称号		学士(健康スポーツ科学)		学位又は学科の分野			教育学・保育学関係, 体育関係								

教 育 課 程 等 の 概 要

(教育人間科学部芸術環境創造課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
(教養教育に関する授業科目) 別紙2参照															
(専門科目に関する授業科目)															
必修 課程 共通 科目	芸術文化論	1	2			○									
	芸術と概念	1	2			○									
	総合芸術実践Ⅰ	2・3	2				○								
	小計(3科目)	—	6	0	0		—								
課程 共通 選択 科目	総合芸術実践Ⅱ	2・3・4	2				○								隔年開講
	西洋芸術学入門	2・3	2				○								
	音楽文化論	2・3・4	2			○									
	環境空間の倫理	2・3・4	2			○									
	ダンス	2・3・4	2						○						
	芸術ソフト開発	3	2						○						
	文学とコミュニティ	2・3・4	2			○									
	多文化教育コミュニケーション	2・3・4	2			○									
	伝統文化保存論	2・3・4	2			○									
	現代の書	2・3	2			○					1				
	東洋書画論	2・3	2			○									
	作品構成技法論	2・3・4	2						○						
	地域芸術実践A	2・3・4	2						○						
	地域芸術実践B	2・3・4	2						○						
	地域芸術実践C	2・3	2						○						
小計(15科目)	—	0	30	0		—									
コース 必修 科目	音楽背景論	2	2			○									隔年開講 隔年開講
	音楽構造論	1	2			○									
	音楽認知論Ⅰ	2・3・4	2			○									
	音楽認知論Ⅱ	2・3・4	2			○									
	多文化音楽論Ⅰ	2	2			○									
	多文化音楽論Ⅱ	2	2			○									
	地域社会音楽論Ⅰ	1・2・3	2			○									
	地域社会音楽論Ⅱ	1・2・3	2			○									
	音楽基礎実践	1	2								1				
	音楽コミュニケーション論Ⅰ	1	2			○					1				
	音楽コミュニケーション論Ⅱ	1	2			○					1				
	作曲技法論Ⅰ	2	2			○									
	小計(12科目)	—	24	0	0		—								
造形 表現 コース	基礎芸術学	2・3・4	2			○									集中 集中 集中 集中
	絵画表現論A	1	2							○					
	絵画表現論B	1	2							○					
	立体造形論	1	2							○					
	機能造形論	2・3・4	2							○					
	デザイン論	1	2							○					
	日本・東洋美術の展開	2・3	2			○									
	西洋美術の伝統と現代	2・3	2			○									
	造形と環境	3	2			○									
	地域美術論	3	2						○						
	立体造形素材演習	2・3	2						○						
	比較造形論	2・3・4	2			○									
小計(12科目)	—	24	0	0		—									
書 表現 コース	楷書法	1	2						○						隔年開講 隔年開講・集中 隔年開講・集中 隔年開講
	行書法	2	2						○						
	草書法	3	2						○						
	篆隸法	4	2						○						
	かな書法	1	2						○						
	かなの表現	2・3・4	2						○						
	日本書道史論Ⅰ	2・3	2			○									
	日本書道史論Ⅱ	2・3	2			○									
	中国書道史論Ⅰ	2・3	2			○									
	中国書道史論Ⅱ	2・3	2			○									
	漢文学	2・3	2			○									
	文献研究	2・3	2			○									
小計(12科目)	—	24	0	0		—									
コース 選択 科目 (A群)	音楽マネジメントⅠ	2・3・4	2			○									
	音楽マネジメントⅡ	2・3・4	2			○									
	音楽学概論Ⅰ	1・2	2			○									
	音楽学概論Ⅱ	1・2	2			○									
	創作実践Ⅰ	1・2・3・4	2			○									
	創作実践Ⅱ	1・2・3・4	2			○									
	音楽教育入門Ⅰ	1	1			○									
	音楽教育入門Ⅱ	1	1			○									
	20世紀の芸術	3・4	2			○									
	音楽社会論Ⅰ	2・3・4	2			○									
	音楽社会論Ⅱ	2・3・4	2			○									

(教育人間科学部芸術環境創造課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
コース選択科目 (A群)	音楽表現コース	作曲技法論Ⅱ	2・3	2		○			1								
		音楽実践指導論A	2・3	2			○			1							
		音楽実践指導論B	2・3	2			○										
		音楽実践指導論C	2・3・4	2			○										
		音楽実践指導論D	2・3・4	2			○										
		集団音楽活動論A	2・3・4	2						1							
		集団音楽活動論B	2・3・4	2									○				
		集団音楽活動論C	2・3・4	2									○				
		小計(19科目)	-	0	36	0	-	-	2	1	0	0	0				
	造形表現コース		現代美術と社会	2・3・4	2		○										隔年開講 隔年開講
			日本画と現代生活	2・3・4	2		○										
			環境デザイン形成論	2・3・4	2		○										
			生活空間デザイン論	2・3・4	2		○										
			美術批評論	3・4	2			○									
			造形教育方法論	2	2			○			1						
			応用絵画	2・3・4	2									○			
			造形形態学	2・3	2			○									
		小計(8科目)	-	0	16	0	-	-	0	1	0	0	0				
	書表現コース		比較芸術学	2・3	2		○			1							
		書芸術論	3・4	2		○			1								
		碑法帖論	2・3・4	2		○				1							
		書鑑賞論	2・3	2		○											
		創作研究	3・4	2			○										
		生活書論	3・4	2			○										
		書とデザイン	3・4	2			○			1							
		壁面書構成Ⅰ	2・3	2					1				○				
		壁面書構成Ⅱ	2・3	2					1				○				
		書道科教育法Ⅰ	2・3・4	2		○				1							
		書道科教育法Ⅱ	2・3・4	2		○				1							
		小計(11科目)	-	0	22	0	-	-	2	1	0	0	0				
コース選択科目 (B群)		音楽表現コース	演奏の心理	2・3・4	2		○										集中 集中 集中
		マスメディアと音楽	2・3・4	2		○											
		舞台芸術	2・3・4	2		○											
		教科心理学	2・3・4	2		○											
		地域社会音楽特論	2・3・4	2		○											
		コンピュータ援用音楽論Ⅰ	2・3・4	2		○				1							
		コンピュータ援用音楽論Ⅱ	2・3・4	2		○				1							
		声楽アンサンブル	2・3・4	2									○				
		音楽技法論A	2・3・4	1									○				
		音楽技法論B	2・3・4	1									○				
		音楽技法論C	2・3・4	1									○				
		音楽技法論D	2・3・4	1									○				
		音楽技法論E	2・3・4	1									○				
		理論実践	3・4	2				○		1							
		作曲・理論実践Ⅰ	1・2・3・4	2						1							
		作曲・理論実践Ⅱ	1・2・3・4	2						1							
		音楽楽曲研究A	2・3	2				○			1						
		音楽楽曲研究B	2・3	2				○									
		音楽楽曲研究C	2・3・4	2				○									
		音楽楽曲研究D	2・3・4	2				○									
		音楽楽曲研究E	2・3	1				○									
		音楽課題研究	3・4	2				○		2	1						
		弦楽アンサンブルⅠ	1・2・3・4	2									○				
		弦楽アンサンブルⅡ	1・2・3・4	2									○				
		弦楽器実践	1・2・3・4	2									○				
	小計(25科目)	-	0	44	0	-	-	2	1	0	0	0					
造形表現コース		現代絵画表現	2・3・4	2									○		隔年開講 隔年開講 隔年開講 隔年開講・集中 隔年開講 集中 隔年開講・集中		
		日本画表現	2・3・4	2									○				
		インスタレーション	2・3・4	2		○											
		空間造形表現A	2・3・4	2						1							
		空間造形表現B	2・3・4	2													
		機能造形表現A	2・3・4	2													
		機能造形表現B	2・3・4	2													
		機能造形表現C	2・3・4	2													
		ビジュアルデザイン	2・3	2													
		映像制作実践	1・2・3・4	2				○									
		平面表現課題A	2・3・4	2													
		平面表現課題B	2・3・4	2													
		環境造形課題A	2・3・4	2						1							
		環境造形課題B	3	2													
		機能造形課題	2・3・4	2													
	造形芸術学課題A	3	2				○		1								
	造形芸術学課題B	3	2				○										
	造形芸術学課題C	3	2				○		1	1							
	造形芸術学課題D	4	2				○		1	1							
	西洋美術史特論	2・3・4	2		○												
	小計(20科目)	-	0	40	0	-	-	3	1	0	0	0					

(教育人間科学部芸術環境創造課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース選択科目（B群）	書表現コース														隔年開講 隔年開講 集中
	中国書史特論	2・3・4		2		○			1						
	書用材論	2・3・4		2		○									
	古筆学特論	2・3・4		2		○									
	刻書表現	2・3・4		2			○								
	暮らしと書式	2・3・4		2			○								
地域文化論	1		2		○				1						
小計（6科目）		—	0	12	0	—	—	—	1	1	0	0	0		
卒業研究	卒業研究	4	6				○		6	3	0	0	0		
	小計（1科目）	—	6	0	0	—	—	—	6	3	0	0	0		
合計（144科目）		—	84	200	0	—	—	—	6	3	0	0	0		
学位又は称号		学士（芸術）		学位又は学科の分野				教育学・保育学関係，美術関係，音楽関係							

教 育 課 程 等 の 概 要

(教育人間科学部全課程共通 教養教育に関する授業科目)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教養教育に関する授業科目	英語	基礎英語	1	1			○		2	1				
	共通英語	1	1				○	3	1					
	発展英語	1・2	2				○		3					
	応用英語	2・3		2			○		2					
	小計 (4科目)	—	4	2	0		—	3	5	0	0	0		
初修外国語	外国語ベーシック I	1		2			○		5	5				
	外国語ベーシック II	1		3			○		4	3				
	ドイツ語インテンシブ I	1・2・3		4			○		2	1				
	ドイツ語インテンシブ II	1・2・3		4			○		2	1				
	ドイツ語スタンダード I	1		3			○		2					
	ドイツ語スタンダード II	1		3			○		2					
	ドイツ語セミナー	2・3		2			○		1					
	コミュニケーション・ドイツ語	2・3		2			○		1	1				
	フランス語スタンダード I	1		3			○		1	1				
	フランス語スタンダード II	1		3			○						1	
	フランス語セミナー	2・3		2			○		1					
	コミュニケーション・フランス語	2・3		2			○							
	ロシア語インテンシブ I	1・2・3		4			○			1				
	ロシア語インテンシブ II	1・2・3		4			○		1					
	ロシア語スタンダード I	1		3			○							
	ロシア語スタンダード II	1		3			○							
	ロシア語セミナー	2・3		2			○			1				
	コミュニケーション・ロシア語	2・3		2			○							
	中国語スタンダード I	1		3			○		1	2				
	中国語スタンダード II	1		3			○		1	2				
	中国語セミナー	2・3		2			○							
	コミュニケーション・中国語	2・3		2			○							
	朝鮮語インテンシブ I	1・2・3		4			○			1				
	朝鮮語インテンシブ II	1・2・3		4			○			2				
	朝鮮語スタンダード I	1		3			○							
	朝鮮語スタンダード II	1		3			○							
	朝鮮語セミナー	2・3		2			○			1				
	コミュニケーション・朝鮮語	2・3		2			○							
	スペイン語スタンダード I	1		3			○							
	スペイン語スタンダード II	1		3			○							
	スペイン語スタンダード III	2・3		1			○							
	スペイン語スタンダード IV	2・3		1			○							
	スペイン語セミナー	2・3		2			○							
	コミュニケーション・スペイン語	2・3		2			○							
	イタリア語スタンダード I	1		3			○			1				
	イタリア語スタンダード II	1		3			○			1				
	イタリア語スタンダード III	2・3		1			○							
	イタリア語スタンダード IV	2・3		1			○							
	コミュニケーション・イタリア語	2・3		2			○							
	外国語スペシャル	2・3		2			○			1				
	外国語セミナー	2・3		2			○			1				
	小計 (41科目)	—	0	105	0		—	10	11	0	0	1		
健康・スポーツ	健康スポーツ科学講義	1	2				○		2	3	4			
	健康スポーツ科学実習 I	1	1						4					
	健康スポーツ科学実習 II	2	1						3	5				
	小計 (3科目)	—	3	1	0		—	5	9	4	0	0		
情報リテラシー	UNIXリテラシー演習	1・2		2			○			1		1		
	コンピュータセキュリティ入門	1・2		2			○			1				
	コンピュータネットワーク概論	1・2		2			○			1				
	プログラミング概論	1・2		2			○			1				
	プログラミング基礎演習	1・2		2			○			1		2		
	情報リテラシー	1・2		2			○			1				
	情報機器操作入門	1・2		2			○		1					
	情報教育論	1・2		2			○		4	6	1		1	
	情報処理概論 A I	1・2		2			○		1					
	情報処理概論 A II	1・2		2			○		1					
	情報処理概論 C	1・2		2			○		1					
	情報処理概論 C 演習	1・2		2			○		1					
	小計 (12科目)	—	0	24	0		—	7	9	1	3	0		

(教育人間科学部全課程共通 教養教育に関する授業科目)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育に関する授業科目	GISリテラシー入門	1・2		2		○			7	2	1			
	HSK(漢語水平考試験) 受験対策講座07	1・2		2		○				1				
	エネルギー概論 I	1・2		2		○				1		1		
	エネルギー概論 II	1・2		2		○				1				
	キャリアデザイン	1・2		2		○			1					
	キャリアを共に考える-自己理解・他者理解	1・2		2		○				1				
	キャリア意識形成と自己成長	1・2		2		○				2				
	キャリア形成	1・2		2		○			1					
	コメ産業論	1・2		2		○			1	2		1		
	コロキウム II	1・2		2		○				1				
	シアター	1・2		2		○			1					
	わが学問・教育	1・2		2		○			5					
	異文化コミュニケーションA	1・2		2		○				1				
	異文化コミュニケーションB	1・2		2		○				2				
	異文化を考える～国際関係・国際協力の視	1・2		2		○			9	3				
	医療倫理学入門	1・2		2		○				1				
	越後から見た原始・古代の地域像	1・2		2		○								
	越後平野の成り立ちと生活	1・2		2		○			1	2				
	応用国際関係論：環境と開発を巡る南北関	1・2		2		○			1					
	開発途上国の環境と開発：事例研究	1・2		2		○			1					
	環境政策学：日本の環境問題の歴史と政策	1・2		2		○			1					
	広域比較言語人類学入門	1・2		2		○			1					
	考える葦の冒険	1・2		2		○			1					
	災害復興科学	1・2		2		○				1				
	自然と文明	1・2		2		○			10	3				
	上海に行こう I	1・2		2		○				1				
	上海に行こう II	1・2		2		○				1				
	新潟“雪”物語－雪の科学と文化を探る－	1・2		2		○			1					
	新潟と多文化共生社会	1・2		2		○				1				
	新潟の地質・災害をさぐる	1・2		2		○				1				
	新潟学－ファンリテーター編－	1・2		2		○				1				
	新潟学－新潟まつり編－	1・2		2		○			1	1				
	新潟学-地域編-	1・2		2		○			1					
	新潟大学が育んだ私の世界・私の夢	1・2		2		○			1					
	新聞を体験する－新潟日報との連携授業－	1・2		2		○				1				
	新聞を通してみた社会	1・2		2		○								
	水を巡る農の旅	1・2		2		○			3	2				
	数理の世界	1・2		2		○			2	2				
	世界の自然災害	1・2		2		○			3	3				
	大学生活を考える	1・2		2		○			3	2				
	地域からの世界史	1・2		2		○			3	1				
	地域から文化を考える	1・2		2		○			1					
	地域に生きる思想	1・2		2		○			1					
	地域を探る	1・2		2		○			8	2				
	地理情報システム (GIS) 概論・演習	1・2		2		○			1					
	中国留学準備講座 I	1・2		2		○				1				
	中国留学準備講座 II	1・2		2		○				1				
	東アジア共同体可能性と中国外交	1・2		2		○				1				
	比較地域社会学	1・2		2		○			1					
	平和を考える in 新潟	1・2		2		○			4					
	平和を考えるA	1・2		2		○			4					
	平和を考えるB	1・2		2		○			4	1				
	留学生と学ぶ日本の企業文化	1・2		2		○			1					
	留学生と考える日本の宗教 I	1・2		2		○				1				
	留学生と考える日本の宗教 II	1・2		2		○				1				
	留学生と考える日本の歴史 I	1・2		2		○				1				
	留学生と考える日本の歴史 II	1・2		2		○				1				
小計 (57科目)		—	0	114	0		—	54	28	1	2	0		
大学学習法	スタディ・スキルズA	1		2			○		1	1				
	スタディ・スキルズB	1		2			○		3	1	1			
	スタディ・スキルズC	1		2			○		1	2				
	スタディ・スキルズD	1		2			○		1	2				
	スタディ・スキルズE	1		2			○		3	3				
	スタディ・スキルズF	1		2			○		2	2				
	スタディ・スキルズG	1		2			○			1				
	スタディ・スキルズH	1		2			○		2	1				
	スタディ・スキルズI	1		2			○			1				
	スタディ・スキルズJ	1		2			○		1	1				

(教育人間科学部全課程共通 教養教育に関する授業科目)

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
教養教育に関する授業科目	大学 学習法	スタディ・スキルズK	1	2			○		1									
		スタディ・スキルズL	1	2			○		1									
		スタディ・スキルズM	1	2			○		4	4								
		スタディ・スキルズN	1	2			○		5	3								
		スタディ・スキルズO	1	2			○		1									
		スタディ・スキルズP	1	2			○		2	3								
		スタディ・スキルズQ	1	2			○		1									
		スタディ・スキルズR	1	2			○		3	5								
		小計 (18科目)	—	0	36	0	—		32	30	1	0	0					
	自然系 共通基礎 ・ 自然科学		エレクトロニクスへの招待	1・2	2			○		5	4			1				
			くらしと環境	1・2	2			○		7	5	1						
			くらしと数理	1・2	2			○		3	1							
			くらしと微生物	1・2	2			○		2	3							
			ゲノム科学	1・2	2			○		1	1							
			コンピュータへの招待	1・2	2			○		6	1							
			データ解析法	1・2	2			○		1								
			化学の教養A—物質を知る—	1・2	2			○		1								
			化学基礎A	1・2	2			○			1							
			科学・技術と社会	1・2	2			○		6								
		解析の数理	1・2	2			○			1								
		基礎有機化学	1・2	2			○		2									
		極微の世界	1・2	2			○			1								
		計測と制御	1・2	2			○			3								
		数学の世界	1・2	2			○		2	2								
		生きている地球	1・2	2			○		7	3	1							
		生活を支える化学技術—化学工学への招待	1・2	2			○		4	4								
		生物学基礎A	1・2	2			○		2	3								
		生物学基礎B	1・2	2			○		1	2								
		生物学—細胞・分子A—	1・2	2			○		1									
		生物学—細胞・分子B—	1・2	2			○			1								
		生物学—植物D—	1・2	2			○		1									
		生物学—植物E—	1・2	2			○		1									
		生物学—生態A—	1・2	2			○			1								
		生物学—動物A—	1・2	2			○		1									
		生物学—動物B—	1・2	2			○		1									
		生物学—動物G—	1・2	2			○		1									
		生物資源論	1・2	2			○		5				1					
		生命と環境の化学 I	1・2	2			○		2	1								
		生命と環境の化学 II	1・2	2			○		2	1								
		代数・幾何の数理	1・2	2			○			1								
		地学C (マグマと火山)	1・2	2			○			1								
		地学E (地球理解の諸相)	1・2	2			○			1								
		地学F (恐竜の科学)	1・2	2			○					1						
		地学G (新潟大学周辺の地学)	1・2	2			○		1									
		地学概論A	1・2	2			○		1	1	1							
		地学概論B	1・2	2			○		1	2								
		地学基礎A	1・2	2			○		2									
		地学基礎B	1・2	2			○		1									
		地学基礎C	1・2	2			○		1									
		地学実験A	1・2	2			○		1			1						
		地学実験B	1・2	2			○		2									
		地学実験C	1・2	2			○			2								
		地学実験D	1・2	2			○			1		1						
		地球と気象	1・2	2			○		1									
		物質の世界	1・2	2			○		1									
		物理学への招待A	1・2	2			○		1									
		物理学への招待B	1・2	2			○			1								
		物理学基礎A I	1・2	2			○		3									
		物理学基礎A II	1・2	2			○		1									
		物理学基礎B I	1・2	2			○		1									
	小計 (51科目)	—	0	102	0	—		66	41	4	2	0						

(教育人間科学部全課程共通 教養教育に関する授業科目)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育に関する授業科目	EU入門	1・2		2		○			1							集中集中
	キャリアデザイン I	1・2		2		○			1	1						
	キャリアデザイン II	1・2		2		○			1	1						
	ジェンダー論	1・2		2		○			8	3		1				
	デザイン論	1・2		2		○				1						
	ビジネス書道入門	1・2		2		○				1						
	マス・メディア論	1・2		2		○			1							
	英語による日本経済史	1・2		2		○			1							
	音と音楽の認知心理学	1・2		2		○			1							
	音楽D	1・2		2		○			1							
	音楽E	1・2		2		○			1							
	音楽F	1・2		2		○			1							
	外国研究基礎	1・2		2		○			4	1						
	外国語アネックスJ	1・2		2		○				1						
	外国語アネックスK	1・2		2		○				1						
	外国語アネックスL	1・2		2		○				1						
	環境倫理学	1・2		2		○			1							
	教養の心理学	1・2		2		○										
	刑事法基礎 I	1・2		2		○				1						
	刑事法基礎 II	1・2		2		○				1						
	鯨とイルカの文化政治学	1・2		2		○			1							
	憲法基礎 I	1・2		2		○			1							
	憲法基礎 II	1・2		2		○				1						
	現代トレーニングの科学	1・2		2		○			1	1						
	現代社会論	1・2		2		○			1							
	現代政治経済学入門	1・2		2		○			1							
	行政学総論	1・2		2		○			1							
	行政法総論	1・2		2		○			1							
	国際関係論	1・2		2		○										
	国際法概論	1・2		2		○			1							
	裁判法基礎	1・2		2		○					1					
	思想史演習 K	1・2		2		○					1					
	詩作演習	1・2		2		○			1							
	社会学とは何か	1・2		2		○				1						
	社会学的思考法	1・2		2		○			1							
	社会心理学入門	1・2		2		○					1					
	書道芸術 A	1・2		2		○					1					
	心と社会	1・2		2		○					1					
	心の科学	1・2		2		○					1					
	心理学	1・2		2		○					1					
	心理学通論	1・2		2		○			1							
	心理診断学的臨床心理学	1・2		2		○						1				
	人間と社会	1・2		2		○			1							
	性格心理学	1・2		2		○					1					
	政策科学概論	1・2		2		○			1							
	政治学	1・2		2		○			1							
	政治学基礎	1・2		2		○			1							
	政治社会学	1・2		2		○			1							
	西欧政治史 I	1・2		2		○			1							
	西欧政治史 II	1・2		2		○			1							
	西洋文化研究演習 B	1・2		2		○			1							
	西洋文学 L I	1・2		2		○			1							
西洋文学 L II	1・2		2		○			1								
西洋文学 M	1・2		2		○			1								
造形表現論	1・2		2		○			1								
対人行動の心理学	1・2		2		○											
地域社会のリフレクション	1・2		2		○			2	1							
中国政治史	1・2		2		○			1								
中国法史	1・2		2		○			1								
東洋の思想・文化	1・2		2		○			1								
東洋美術史 A I	1・2		2		○			1								
東洋美術史 A II	1・2		2		○			1								
働くことの意味	1・2		2		○					1						
特殊講義 (メディアと政治)	1・2		2		○			1								
特殊講義 (国際政治史)	1・2		2		○											
特殊講義 (政治制度論)	1・2		2		○			1								
特殊講義 (西洋政治思想史)	1・2		2		○			1								
特殊講義 (日本近代外交史)	1・2		2		○											

(教育人間科学部全課程共通 教養教育に関する授業科目)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
教 養 教 育 に 関 す る 授 業 科 目	人文社会・教育科学	特殊講義(日本政治思想史)	1・2	2		○										
		日経新聞から見た経済	1・2	2		○							1			
		日本近代文学C	1・2	2		○							1			
		日本古典文学D	1・2	2		○										
		日本古典文学F	1・2	2		○				1						
		日本古典文学K	1・2	2		○							1			
		日本古典文学L	1・2	2		○				1						
		日本語教育Ⅰ-A	1・2	2		○							1			
		日本語教育Ⅰ-B	1・2	2		○							1			
		日本語教育Ⅱ-A	1・2	2		○							1			
		日本語教育Ⅱ-B	1・2	2		○							1			
		日本国憲法A	1・2	2		○										
		日本国憲法D	1・2	2		○										
		日本政治史	1・2	2		○										
		日本文化論	1・2	2		○							1			
		日本文化論演習B	1・2	2		○							1			
		能楽の世界-歴史と文学-	1・2	2		○				2			1			
		文学A	1・2	2		○				1						
		文学B	1・2	2		○				1						
		文学D	1・2	2		○							1			
		法社会学	1・2	2		○				1						
		民事法基礎Ⅰ	1・2	2		○							1			
		民事法基礎Ⅱ	1・2	2		○							1			
		民事法基礎Ⅲ	1・2	2		○				1						
		民事法基礎Ⅳ	1・2	2		○				1						
		臨床心理学入門	1・2	2		○				1						
		歴史学B	1・2	2		○				1						
		歴史学F	1・2	2		○							1			
		歴史学P	1・2	2		○							1			
		歴史学S	1・2	2		○				1						
		歴史学U	1・2	2		○							1			
		歴史学Z	1・2	2		○							1			
	小計(100科目)	—	0	200	0		—		42	25	1	1	0			

事前伺い（新潟大学教育学部設置）結果に係る新潟大学の対応について

【付与された意見（要望意見）】

【2】科目名と授業内容に相違があるので検討していただきたい。1. 機能造形論における前期課題は適切ではないので、機能造形の解説およびプロダクトデザインの解説および史的考察の時間数を増やしていただきたい。特にアートプロジェクトの時間数が多く科目名と乖離している。2. デザイン論では、他にデザイン概論等の科目がないことから、概論的内容を多くし、デザインの領域（平面、立体、空間、環境、情報など）を理解させる必要がある。事例では照明器具デザインだけではなく多くの事例を紹介する。提示されている授業内容では「照明器具デザイン」で科目名と乖離している。

【対応】

本学では、ご意見を踏まえ授業内容について見直しを行い、科目名と授業内容が相応する内容に改め、開講することとする。

具体的には、「機能造形論」において、機能造形の解説、プロダクトデザインの解説、歴史的考察を内容に盛り込むとともに十分な講義時間数の確保を図る。また、「デザイン論」においては、「デザイン概論（平面デザイン、立体デザイン、空間デザイン、環境デザイン、メディアデザインなど、素材、機能、造形に関する基礎的理論の学習）」を内容に盛り込むとともに、より多くのデザインを紹介することにより、デザインについての広範な理解を図るように努める。

なお、授業については、別紙シラバスの「授業計画」により行うこととする。

別紙：シラバス

【要望意見を踏まえ授業計画等の修正】

科 目 名		機能造形論	
		修正前	修正後
科目の概要	<p>本授業の前期では、工芸・機能造形（プロダクトデザイン）の基礎的な解説、実習を通して、機能造形の理解を深めてゆく。前期の課題で出来た表現を「地域連繋をもとにしたアートプロジェクトの中で発表を行う。（内野町でのショーウィンドウディスプレイを計画している。）</p> <p>後期の授業では、時代背景を元に変化してきたモノの歴史を考察し、今後我々の生活空間で用いられるモノの機能、形、素材等がどのように移り変わっていくのであるか探っていく。課題としては生活のなかでの道具「箸」をテーマとした実制作を行う。素材、加工方法、機能の点から考察し自らの手で制作をし、単純な機能の中に隠れている素材、形体、視覚的要素、のバランスを探っていく。</p>	<p>本授業の前期では、工芸・機能造形（プロダクトデザイン）の基礎的な解説と実習を通して、機能造形の理解を深めてゆく。前期の課題で出来た表現を実際の現場に設置する。後期の授業では、時代背景の元に変化してきたモノの歴史を考察し、今後我々の生活空間で用いられるモノの機能、形、素材等がどのように変化していくかを探っていく。課題としては、生活のなかでの道具をテーマとした実制作を行う。素材、加工方法、機能の点から考察し自らの手で制作し、単純な機能の中に隠れている素材、形態、視覚的要素のバランスを探っていく。</p>	
科目のねらい	<p>実習及び講義を通して、実際に機能造形を制作しながら、モノ・場・人との関わりを理解するとともに、共同作業としての大きな表現を築いていくことを、ねらいとする。</p>	同左	
学習の到達目標	<p>課題制作を通して形体、素材、機能面での相互関係について理解を深める。</p>	同左	
登録のための条件（注意）		同左	
学習方法・学習上の注意	<p>講義以外に、実技、実践課題を通して、学外にて発表をおこないます。授業時間外のレクチャー等もあります。</p>	同左	
授 業 計 画	<p>本科目の具体的な授業計画は下記のとおりとし、前期の第1回から第4回、後期の第16回から第20回については、機能造形に関する講義を中心に実施し、前期の第5回から第15回、後期の第21回から第30回については、2課題による機能造形に関する実習を行う。</p> <p>【前期課題】 1-2回： 地域連繋でのアートプロジェクトの解説 「情報発信基地・展示スペースのディスプレイ」の解説 3-4回： 地域連繋でのアートプロジェクトの中での発表課題の説明 5-12回： 制作及び企画運営。（毎時間中間チェックを設ける） 13-15回： 内野町にて展示発表（10月中旬）</p> <p>【後期課題】 16回： 日本に於ける道具（プロダクトデザイン）の紹介 17回： プロダクトデザインの機能の移り変わり（サンプルを用いて検証する。） 18-20回： 現時点での物と造形と機能との関わりについて考察する。 *各自の視点で調査し、発表する。 レポート提示 20-30回： 造形課題 身の回りにある生活道具を制作する。 「食に用いられる箸を自らの手で制作しなさい。」 @木材について、木材の加工方法 @箸の機能について各自発表する。 @制作 @希望者は漆を用いて表面処理を行う。 注意：漆は、かぶれる恐れがあ</p>	<p>本科目の具体的な授業計画は下記のとおりとし、前期の第1回から第4回、後期の第16回から第17回については、生活のなかで用いられ、改良されてきた各種の機能造形の特質と機能造形に関する考え方や形態の史的変遷について講義で論ずる。後期の第18回から第20回については、前期の学習から特定の機能造形を中心に、形態、機能、素材等について、各自の視点から調査し、学習を深める。前期の第5回から第15回、後期の第21回から第30回については、2つの機能造形の課題についての実習を行う。</p> <p>1-4回： <u>機能造形の基礎的解説（具体例を挙げて、制作の意味を概説する。）</u> 5-15回： 機能性に配慮した作品制作と作品設置等の現実的課題の解決について実習する。 16-17回： <u>日本の道具（プロダクトデザイン）の紹介と歴史を解説する。</u> 18-20回： <u>ものと造形と機能の関わりについて、各自の視点で調査し、発表する。レポート提出</u> 21-30回： <u>身の回りにある生活道具を制作する。</u> 素材、加工方法、機能について、各自調査し、発表する。 各自製作し、塗装などを施す。講義の最後に講評を行う。</p>	

	ります。 @講評	
成績評価の方法と基準	出席状況、課題作品、レポートを通して総合的に判断する。	同左
使用テキスト	授業時にプリントを配付。	同左
参考文献		同左

科目名	デザイン論	
	修正前	修正後
科目の概要	本授業は、デザインの基礎実習科目である。授業は、当講座の一学年を対象にした実習となっており、集中形式で実施する。造形の基礎となる素材研究と、デザインが担う思考の組み立てプロセスの解説を取り入れながら、両面から、課題を通して論じてゆく。授業計画の前半には、適宜講義形式の授業を組み込み、実習を効果的に進める。	同左
科目のねらい	コンセプトを立案し、発表を重ねながら各自プレゼンテーションを行なってゆく。その中でのデザインプロセスの組み立て、そして表現に結ぶことが、ねらいである。	同左
学習の到達目標	柔軟な発想を基に、他者にプランニングを伝えることが出来たか。 意図出来た作品が、表現出来たか。	同左
登録のための条件(注意)	集中形式での授業であり、本授業は12月から1月までも期間を予定している。	同左
学習方法・学習上の注意	表現素材は各自で用意すること。 この授業では工房の大型機械の使用はさけること。紙を中心に演習室で制作出来る範囲とする。	同左
授業計画	<p>本科目の具体的な授業計画は下記のとおりとし、第1回から第5回については、照明器具デザインに関する講義を中心に実施し、第6回以降は中間講評を取り入れたデザインプロセスをチェックしながら、照明器具デザインに関する実習を行う。</p> <p>課題 光源を用いた造形『照明器具デザイン』</p> <p>1 回: 授業ガイダンス 2-3 回: 課題説明及び電気配線の基礎</p> <p>4 回: 様々な照明器具デザインの紹介 5 回: 照明を用いての実験 6-10回: コンセプトの立案及び実験 11 回: コンセプトの発表・講評 12-16回: 制作 17 回: 中間発表・講評 18-27回: 制作 28 回: 作品講評 29 回: 作品設置及び撮影 30 回: 映像資料として整理する。</p>	<p>本科目の具体的な授業計画は下記のとおりとし、第1回から第5回については、平面、立体、空間、環境及びメディア等のデザインについて種々の事例を紹介しつつ、デザインに関する講義を行う。第6回以降は、デザインの制作過程をチェックしながら、特定の課題に関わる実習を行う。第28回以降は、作品講評を行うとともに、想定された機能にあわせて作品の設置とプレゼンテーションの実習を行い、デザイン実習の総合的な評価を行う。</p> <p><u>1 回: 授業ガイダンス</u> <u>2-3 回: デザイン概論(平面デザイン、立体デザイン、空間デザイン、環境デザイン、メディアデザインなど、素材、機能、造形に関する基礎的理論の学習)</u> <u>4-5 回: 上記に関する具体的な事例研究</u> 6-11回: 作品制作におけるコンセプトの立案及び実験 12-16回: 制作 17 回: 中間発表と講評 18-27回: 制作と作品研究 28 回: 作品講評 29-30回: 作品設置及び撮影、映像資料の作製</p>
成績評価の方法と基準	出席状況、課題作品、レポートにて総合的に判断する。	同左
使用テキスト	授業時にプリント等を配付。	同左
参考文献	授業時に紹介する。	同左

※ 「修正前」は、平成19年度第3回大学設置・学校法人審議会運営委員会(平成19年7月18日開催)において付された「補正意見」に対して回答した内容。

【参考】

平成19年度第3回大学設置・学校法人審議会運営委員会（平成19年7月18日開催）において付された「補正意見」への対応内容】

事前伺い「新潟大学学部の設置（教育学部）」に係る補正意見への対応

【補正意見】

【2】造形表現コースにおいて絵画表現論A、B、立体造形論、機能造形論、デザイン論については実習となっているが、講義と実習で対応していただきたい。【補正意見】

【対応】

上記科目については、実習を核として、適宜関連知識・技術等を教授する形で行うこととしているが、今回のご指摘を踏まえ、講義及び実習を適切に組み合わせて授業を行うことを明確にし、シラバス等で学生に周知を行い、授業目的・内容等の十分な理解の下、効果的な授業の実践を図るものである。

具体的には、別紙シラバスの授業計画等により、講義と実習の適切な組み合わせによる授業を実施することとしている。

【各科目における講義と実習の組み合わせについて（シラバス中の「授業計画」より抜粋）】

○ 絵画表現論A

第1回から第4回、第7回から第11回については、絵画表現に関する講義を中心に実施し、第5回から第6回、第12回から第30回については、絵画表現に関する実習を行う。

○ 絵画表現論B

第1回から第7回については、絵画表現（日本画）に関する講義を中心に実施し、第8回から第30回については、絵画表現に関する実習を行う。

○ 立体造形論

第1回から第2回、第13回、第24回から第25回、第29回から第30回については、立体・空間に関する講義を中心に実施し、第3回から第12回、第14回から第23回、第26回から第28回については、クロッキー及び立体構成に関する実習を行う。

○ 機能造形論

前期の第1回から第4回、後期の第16回から第20回については、機能造形に関する講義を中心に実施し、前期の第5回から第15回、後期の第21回から第30回については、2課題による機能造形に関する実習を行う。

○ デザイン論

第1回から第5回については、照明器具デザインに関する講義を中心に実施し、第6回以降は中間講評を取り入れたデザインプロセスをチェックしながら、照明器具デザインに関する実習を行う。

別紙：シラバス

科目名	絵画表現論A
科目の概要	絵画表現の基礎実習科目として絵画を多角的に考察する。社会に存在している様々な事象を取り上げ、芸術が直面している問題を検証して表現に結びつけると同時に、2次元の世界に3次元空間を写すとはどんな意味が隠されているかを考察する。授業計画の前半に講義形式の授業を適宜行い、実習をより効果的に進める。
科目のねらい	描くことだけでなく、その背景に潜む美術の根元的な問題を考えながら表現することの意味を自己に位置づける。
学習の到達目標	授業形態としては実技と講義を効果的におりまぜて展開する。
登録のための条件(注意)	
学習方法・学習上の注意	実習を休日に行う場合がある。
授業計画	<p>本科目の具体的な授業計画は下記のとおりとし、第1回から第4回、第7回から第11回については、絵画表現に関する講義を中心に実施し、第5回から第6回、第12回から第30回については、絵画表現に関する実習を行う。</p> <p>1-4回： 芸術が有している本質的な意味をスライドや映像資料を通して理解するとともに、現代社会の中における美術の意義を学ぶ。 5-6回： 一般的な事物をそれぞれが芸術的な価値を見だし、実践的な行為として表現行為を行う。 7-11回： 色彩の持っている可能性を、過去の作家の生き様をスライド等で鑑賞しながら学ぶ。 12-20回： 野外風景実習、五感を意識しながらドローイングを実践する。 21回： 講評会 22-28回： 人体素描 29-30回： 講評会</p>
成績評価の方法と基準	出席、レポート提出、作品提出等
使用テキスト	
参考文献	

科目名	絵画表現論B
科目の概要	本授業は、絵画表現の基礎実習科目として開講する。絵画を学ぶ者にとって素材に触れることなく論じて理解において消化不良をおこしかねない。素材に触れ付き合うことでその理解力が備わるはずである。授業形態として、実技を中心とするが、あまり一般的でない日本画材料を使用し、絵画表現をするため、授業計画の前半にはその基本的な扱い方について講義をおりまぜながら展開していく。
科目のねらい	絵画（日本画）の素材とつきあうこと。
学習の到達目標	日本画制作のための基礎的な素材の理解ができること。
登録のための条件(注意)	事物の観察描写ができること。
学習方法・学習上の注意	固定観念にとらわれることなく、芸術分野において多大な興味を持つこと。 大半の学生は麻紙や岩絵具、膠などに触れたことがないはずである。モチーフや制作用紙などこちらで用意できるものもあるが、絵画等専門とする画材を各自購入してもらう。
授業計画	<p>本科目の具体的な授業計画は下記のとおりとし、第1回から第7回については、絵画表現（日本画）に関する講義を中心に実施し、第8回から第30回については、絵画表現に関する実習を行う。</p> <p>1-2回： 「日本画」とはなにか、実作者の立場からその問題を考えていく。 3-4回： 日本画絵の具の特質について 5-6回： 絵の具と展色剤の関係について 7回： 基底材について 8-14回： 植物写生を通し観察と表現力を養う。 15-19回： 実技制作。授業途中で人体素描週間があるので、参加必修とする。 30回： 講評会</p>
成績評価の方法と基準	製作態度、講評会、作品提出により判断する。
使用テキスト	
参考文献	図解日本画用語辞典（発行東洋美術）、原色日本の美術（発行小学館）

科目名	立体造形論
科目の概要	本授業は、立体造形の基礎実習科目として開講する。立体造形において形や空間の有り様をイメージ出来る力は不可欠である。基本的な立体のとらえ方や考え方の解説と基礎実習を通して3次元空間における形の有り様を構想し、空間の広がりや認識する力量を身につけることを目的として行う。授業は、実習を中心に行うが、適切に講義形式を取り入れる。
科目のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何をどのように作りたいのか、形や面、線、塊の集合体として構想できる力。 ・ 3次元空間における面、線、塊のもたらす空間の認識。 ・ 形の在り方を観察し感じ取る力。 ・ 形の在り方を観察し表現する力。
学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厚紙を用いて幾何学的に正確な模型や立体構成が出来るようになること。 ・ テーマに基づいて形のバリエーションの展開ができること。 ・ 対象物の形や量を捉えられること。 ・ 立体や空間を認識しイメージできること。
登録のための条件(注意)	用意する物 <ul style="list-style-type: none"> ・ スケッチブック、鉛筆 ・ ハサミ、カッターナイフ、定規、のり、セロテープ等 ・ 粘土制作に適した服装 ・ ビニール袋
学習方法・学習上の注意	毎週試作模型のチェックを行うので課題数を確実にこなすこと。
授業計画	本科目の具体的な授業計画は下記のとおりとし、第1回から第2回、第13回、第24回から第25回、第29回から第30回については、立体・空間に関する講義を中心に実施し、第3回から第12回、第14回から第23回、第26回から第28回については、クロッキー及び立体構成に関する実習を行う。 1-2回: 量塊のとらえ方、粘土の扱い方、クロッキーのルール等の解説 3-12回: グループに分かれての粘土による立体クロッキー 13回: 映像資料等を用いての制作課題、および立体と空間認識についての解説 14-23回: 立体構成課題の試作模型の製作とバリエーションの展開 24-25回: 立体構成課題、試作模型の中間講評 本制作における制作プロセスの解説 26-30回: 作品の製作、最終講評
成績評価の方法と基準	作品提出状況、模型の数、制作における取組の態度などを総合的に評価する。
使用テキスト	
参考文献	

科目名	機能造形論
科目の概要	本授業の前期では、工芸・機能造形（プロダクトデザイン）の基礎的な解説、実習を通して、機能造形の理解を深めてゆく。前期の課題で出来た表現を「地域連繫をもとにしたアートプロジェクト」の中で発表を行う。（内野町でのショーウィンドウディスプレイを計画している。）後期の授業では、時代背景を元に変化してきたモノの歴史を考察し、今後我々の生活空間で用いられるモノの機能、形、素材等はどのように移り変わっていくのであるか探っていく。課題としては、生活のなかでの道具「箸」をテーマとした実制作を行う。素材、加工方法、機能の点から考察し自らの手で制作をし、単純な機能の中に隠れている素材、形体、視覚的要素、のバランスを探っていく。
科目のねらい	実習及び講義を通して、実際に機能造形を制作しながら、モノ・場・人との関わりを理解するとともに、共同作業としての大きな表現を築いていくことを、ねらいとする。
学習の到達目標	課題制作を通して形体、素材、機能面での相互関係について理解を深める。
登録のための条件(注意)	
学習方法・学習上の注意	講義以外に、実技、実践課題を通して、学外にて発表をおこないます。授業時間外のレクチャー等もあります。
授業計画	本科目の具体的な授業計画は下記のとおりとし、前期の第1回から第4回、後期の第16回から第20回については、機能造形に関する講義を中心に実施し、前期の第5回から第15回、後期の第21回から第30回については、2課題による機能造形に関する実習を行う。 【前期課題】 1-2回: 地域連繫でのアートプロジェクトの解説 「情報発信基地・展示スペースのディスプレイ」の解説

	<p>3-4回: 地域連携でのアートプロジェクトの中での発表課題の説明 5-12回: 制作及び企画運営。(毎時間中間チェックを設ける) 13-15回: 内野町にて展示発表 (10月中旬) 【後期課題】 16回: 日本に於ける道具 (プロダクトデザイン) の紹介 17回: プロダクトデザインの機能の移り変わり (サンプルを用いて検証する。) 18-20回: 現時点での物と造形と機能との関わりについて考察する。 *各自の視点で調査し、発表する。レポート提示 20-30回: 造形課題 身の回りにある生活道具を製作する。 「食に用いられる箸を自らの手で制作しなさい。」 @木材について、木材の加工方法 @箸の機能について各自発表する。 @制作 @希望者は漆を用いて表面処理を行う。注意: 漆は、かぶれる恐れがあります。 @講評</p>
成績評価の方法と基準	出席状況, 課題作品, レポートを通して総合的に判断する。
使用テキスト	授業時にプリントを配付。
参考文献	

科目名	デザイン論
科目の概要	<p>本授業は、デザインの基礎実習科目である。 授業は、当講座の一学年を対象にした実習となっており、集中形式で実施する。 造形の基礎となる素材研究と、デザインが担う思考の組み立てプロセスの解説を取り入れながら、両面から、課題を通して論じてゆく。 授業計画の前半には、適宜講義形式の授業を組み込み、実習を効果的に進める。</p>
科目のねらい	<p>コンセプトを立案し、発表を重ねながら各自プレゼンテーションを行なってゆく。 その中でのデザインプロセスの組み立て、そして表現に結ぶことが、ねらいである。</p>
学習の到達目標	<p>柔軟な発想を基に、他者にプランニングを伝えることが出来たか。 意図出来た作品が、表現出来たか。</p>
登録のための条件 (注意)	集中形式での授業であり、本授業は12月から1月までも期間を予定している。
学習方法・学習上の注意	<p>表現素材は各自で用意すること。 この授業では工房の大型機械の使用はさけること。紙を中心に演習室で制作出来る範囲とする。</p>
授業計画	<p>本科目の具体的な授業計画は下記のとおりとし、第1回から第5回については、照明器具デザインに関する講義を中心に実施し、第6回以降は中間講評を取り入れたデザインプロセスをチェックしながら、照明器具デザインに関する実習を行う。 課題 光源を用いた造形『照明器具デザイン』 1回: 授業ガイダンス 2-3回: 課題説明及び電気配線の基礎 4回: 様々な照明器具デザインの紹介 5回: 照明を用いての実験 6-10回: コンセプトの立案及び実験 11回: コンセプトの発表・講評 12-16回: 制作 17回: 中間発表・講評 18-27回: 制作 28回: 作品講評 29回: 作品設置及び撮影 30回: 映像資料として整理する。</p>
成績評価の方法と基準	出席状況, 課題作品, レポートにて総合的に判断する。
使用テキスト	授業時にプリント等を配付。
参考文献	授業時に紹介する。